

エンパワーするNGO



2018年度 事業報告書



はっぴー・すくーる

公益財団法人 神戸 YWCA

目次

YWCAの使命（ミッション）	1
事業報告	
I．平和・人権事業	2
平和活動部	
被災者支援プロジェクト	
＜グループ＞ 現代史勉強会いもづる	
ピース・ブリッジ（Peace Bridge）	
II．国際理解・多文化共生事業	5
国際相互支援部	
III．地域福祉事業	6
神戸YWCAまごの手（居宅介護支援事業所・訪問介護事業所）	
神戸YWCA保育園	
地域福祉部	
＜グループ＞ わいわいランチ	
わいわいデイルーム	
わいわい亭	
弓の木歌の集い	
ちやいやあらんど	
夜回り準備会	
声の奉仕	
カフェもぐもぐ	
IV．生涯学習・人材育成事業	20
神戸YWCA学院	
（日本語コース・日本語教師養成コース・外国語コース・地域福祉コース・文化教養コース）	
＜グループ＞ 愛農人倶楽部	
アフタヌーン・ティー	
文学講座	
マザースカレッジ企画会	
わいわい科学クラブ	
V．活動共通事業	28
運営委員会	
会員委員会	
100周年記念事業実行委員会	
キリスト教基盤部	
＜グループ＞ 讃美歌を歌おうかい	
聖書を読む会	
VI．広報・ファンドレイジング	33
機関紙編集部	
ファンドレイジング実行委員会	
VI．法人	35
理事会	
監事	
評議員会	
会勢報告	38
2018年度公益財団法人神戸YWCA組織図 / 評議員・理事・監事・運営委員・職員	39
決算報告書	41
監査報告書	54



ビジョンミーティング



コウベY式防災講座 ソーラークッカーをつくろう！

YWCA の使命（ミッション）

公益財団法人神戸 YWCA の目的

この法人は、キリスト教の基盤に立って、青少年及び女性の人格向上を図り、教養を深めるとともに、人間の尊厳を守り、奉仕の精神を養うことにより、平和と正義の実現に寄与することを目的とする。（定款第3条）

2018 年度 神戸 YWCA ビジョン・活動目標・標語聖句

神戸 YWCA ビジョン

一人ひとりが大切にされる社会

2018 年度活動目標

共に社会を変える一歩を踏み出す

標語聖句

平和を勧める人の心には喜びがある（箴言 12 章 20 節）

日本 YWCA 主題・ビジョン

第 32 回全国総会決議

主 題 「平和を実現する人々は幸いである」（マタイによる福音書 5 章 9 節）

日本 YWCA のビジョン

地域で女性達が主体的に活動することを通して以下の社会をめざします。

- (1) 平和憲法が生かされ、核も暴力もない社会
- (2) 女性と子どもの尊厳を守る社会
- (3) 若い女性がリーダーシップを発揮する社会
- (4) 多世代・多文化で多様な背景を持つ人びとを尊重する社会

事業報告

I. 平和・人権事業

平和活動部

代表 東根順子
 メンバー 8人
 担当職員 なし

● 活動方針・目標

- ・非核・非暴力の平和な社会を求める。
- ・若い人、関心のない人たちにも参加してもらえるようなプログラムを進める。
- ・平和憲法を守る活動を継続する。

● 活動報告

6月9日(土)、講師に辻信一さんを招き、「生き方や価値観を見直したい」のタイトルで、平和集会を開催した。速さや強さを競う今までの価値観から、遅く、小さく、弱い者の視点にたつことで見えてくる非暴力と平和な生き方を学んだ。憲法出前プログラムは、6月26日(火)に阪南大学坪井ゼミ、11月6日(火)にはプール学院高校に出向き、現在の社会問題を通して憲法と立憲主義を考えてもらう機会となった。熱心に受け止め、自分の意見をしっかりと表現する学生に、私たちも励まされた。10月6日(土)の鈴田涉さんを招いた「憲法井戸端会議」は、参加者の自由な意見交換を通して憲法を生活に生かす語り合いの場となった。勉強会は経済問題なども含め、多彩なテーマとスタイルで続けている。今後も他団体との協働や、今年から発行の「平和活動部ピースレター」を通して、より多くの人たちとの繋がりの中、多様な平和活動を実施していきたい。

● 活動実績

開催日	部会 (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
4月3日	第1回 部会	6月9日(土) 平和集会 辻信一さん講演会について	8	93 (全12回)	7
5月18日	第2回 部会	平和集会、阪南大学での憲法出前プログラム他	6		
6月15日	第3回 部会	平和集会ふりかえり、憲法出前プログラムの授業案検討他	9		
7月18日	第4回 部会	憲法出前プログラムふりかえり、学習会の講師への依頼他	7		
8月17日	第5回 部会	プール学院からの憲法出前プログラム要請他	9		
9月19日	第6回 部会	憲法井戸端会議の具体案、憲法出前プログラム授業案、ピースレター発行決定他	8		
10月24日	第7回 部会	憲法井戸端会議ふりかえり、プール学院への憲法出前プログラム授業案検討、ピースレター内容検討他	7		
11月29日	第8回 部会	憲法出前プログラム報告他	7		
12月17日	第9回 部会	2018年度活動報告、2019年度活動計画・予算他	7		
1月11日	第10回 部会	神戸芝居カーニバルからの河東けい ひとり語り「母-多喜二の母-」共催依頼他	8		
2月15日	第11回 部会	2019年度計画、河東けい ひとり語り「母-多喜二の母-」準備他	8		
3月29日	第12回 部会	2019年度計画、選挙向けの前向きなキャッチコピーづくり他	9		

● 神戸YWCA主催プログラム

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
6月9日	平和集会 (神戸市青少年会館)	生き方や価値観を見直したい～速さや強さを競う弱肉強食の“土俵”から降りる	辻信一 (文化人類学者、 明治学院大学教授)	64
6月26日	憲法出前プログラム (阪南大学坪井ゼミ)	発見！私たちと憲法～これからどうする？	平和活動部メンバー (川辺、梅澤、鶴崎、東根)	32

10月6日	憲法井戸端会議 (神戸YWCA本館)	憲法をジェンダーや差別の視点から考え、 参加者で意見交換する	鈴木渉 (大阪労働学校・アソシエ 講師、憲法学・政治学)	9
11月6日	憲法出前プログラム (ブール学院)	発見！私たちと憲法～これからどうする？	平和活動部メンバー (川辺、梅澤、鶴崎)	9
1月14日	パレスチナ報告会 (神戸市青少年会館)	パレスチナYWCA・ユース国際会議/ オリーブ収穫プログラム報告会	小笠原純恵 (日本YWCA職員)	18
各部会前	持ち寄り学習会 (神戸YWCA本館)	DVD観賞会やメンバーの持ち寄った様々な 平和に関するテーマについて話し合う	平和活動部メンバー	各 4～8

● 他団体主催プログラムへの参加

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師・主催団体等	神戸YWCA 参加人数
5月3日	5・3 憲法集会 (神戸・東遊園地)	戦争させない 9条壊すな！	5.3 総がかり行動兵庫実行委員会	7
11月3日	憲法集会 (神戸市勤労会館)	渡辺治憲法集会	渡辺治さん (憲法問題を考える懇談会)	2
11月30日	藤田早苗講演会 (神戸学生青年センター)	世界から見た日本を語る	藤田早苗さん (藤田早苗講演会@KOBE 実行委員会)	8
1月12日	市民デモ HYOGO 新年交流会 (神戸市立葺合文化センター)	新年交流会	市民デモ HYOGO	3
10回	KOBE ピース i ネット定例会 (神戸生活創造センター)	活動の企画	KOBE ピース i ネット	10
10回	KOBE ピース i ネット ドキュメンタリー上映会 (神戸生活創造センター)	映像で見る平和の道	KOBE ピース i ネット	12

被災者支援プロジェクト

代表 梅澤昌子
メンバー 4人
職員 西本玲子

● 活動方針・目標

セカンドハウス・プログラムは、日本YWCA「com7300」の活動方針に沿って今年度も実施する。また利用者家族との交流も継続し、神戸から福島への訪問も実施予定。

一方的な支援に留まるのではなく、自分たちの足下においても、原発に頼らない持続可能な社会づくりのために私たちに何ができるのか、考え、取り組んでいく。

● 活動報告

今年度は尼崎市内の家屋をお借りして、セカンドハウス・プログラムを実施した。3月の時点では5家族18人の利用申し込みがあったが、子どもの急な発熱等の理由で、結果としては2家族5人の利用に留まった。経済的な理由で断念した家族もあり、日常生活の中で保養を継続することの難しさを思った。1家族とは夕食会を実施し、福島で生活する現状等を聞かせてもらった。利用前後の寝具の洗濯やセッティング、室内の清掃などを、メンバーと大家さんとで行なった。

また、持続可能な社会づくりへの取り組みとして、11月10日(土)コウベY式防災講座「ソーラークッカーをつくろう！」を実施(参加者15人/内、子ども5人)。ソーラークッカー研究家の西川豊子さんの指導のもと、各参加者が組み立てた簡易型ソーラークッカー「ききょう」でホットドッグを作り、皆で美味しくいただいた。太陽熱だけでペットボトルの水がお湯になり、チョコチップパンがラスクになる驚きを楽しんだ一日となった。

東日本大震災から8年となる3月11日(月)神戸聖愛教会で行われた「ミホプロジェクト祈りのコンサート」を後援。当日の募金から約10万円のご寄付をいただいた。また活動資金を得るためにソーラークッカーで作るチョコラスク販売の準備を始めた。来年度以降に開始したい。

● 活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加 人数	延参加人数 (全回数)	平均参加 人数
6月23日	第1回ミーティング	メンバー顔合わせ、年間計画、担当など	5	18 (全4回)	4
7月19日	第2回ミーティング	コウベY式防災講座企画、 福島ツアーへの参加準備など	4		
9月20日	第3回ミーティング	ソーラークッカー講座準備など	4		
1月10日	第4回ミーティング	今年度の振り返り、2019年度活動計画など	5		

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	利用人数 参加人数
8月16日～21日	セカンドハウス・プログラム (尼崎)	福島及びその近隣県の放射能被災下にある家族の保養受け入れ	1家族2人
12月29日～1月4日	セカンドハウス・プログラム (尼崎)	〃	1家族3人
11月10日	コウベY式防災講座「ソーラークッカーをつくろう！」(神戸YWCA本館、株式会社さくら工芸社屋上)	ソーラークッカーを組み立てて調理。太陽光の力を学び防災に生かす。 講師：西川豊子 (ソーラークッカー研究家)	15人
延参加人数 (全3回)			20人
利用都度	セカンドハウス／お掃除し隊 (尼崎)	セカンドハウス利用の前後で、住居の掃除と寝具等の選択を実施 (全2回)	参加メンバー 延6
利用都度	セカンドハウス／利用者と夕食会 (尼崎)	セカンドハウス利用者との交流食事会 (全1回)	参加メンバー 延5
延参加人数 (全2プログラム)			11

グループ

現代史勉強会 いもづる

休会中

ピース・ブリッジ (Peace Bridge)

代表 寺沢京子
メンバー 5人

● 活動方針・目標

- ・他団体、グループと橋を繋ぎ、協力して平和構築活動を進める。
- ・講演会や学習会などを行ない、学び語り合う。

● 活動報告

6月9日(土)、平和活動部と共催で「生き方や価値観を見直したい」というテーマで、辻信一さんの講演会を催した。8月10日(金)には、三宮で開かれた「原水爆禁止世界大会 海外代表交流の集い」に参加した。9月8日(土)「元プロ野球選手・張本勲の姉が語る～被爆の実相と核兵器廃絶の願い」、11月17日(土)「日本はなぜ『核の傘』を手放さないのか～日米<核>軍事同盟の現実／大田昌克さん(共同通信編集委員)、3月22日(金)「巨大広告企業の利権とプロパガンダ」／本間龍さん(ノンフィクション作家)、(すべて非核の政府を求める会主催)講演会に協賛し、寺沢が司会を担当した。9月28日(金)には、コープこうべを訪問し、電気事業に関するヒアリングを行なった。

平和活動に関わっている市民は多いが、互いに繋がっていないと実感し、「学び、語り合い、繋がる会」を企画した。その第1回を12月1日(土)、竹田雅博さんをゲストに迎え、非核への願いを語ってもらった。第2回目は3月16日(土)、平和活動部やピース・ブリッジで現在、共に活動している池田清さんをゲストに迎えて「幸福」について学び、語り合った。カフェで行なうことで、和やかな雰囲気の中、率直な意見交換をすることができている。

● 活動実績

開催日	ミーティング (場所)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
12月13日	ミーティング (三宮の喫茶店にて)	2018年の振り返り&2019年の抱負	5	5	5

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
6月9日	生き方や価値観を見直したい (神戸市青少年会館)	平和集会 平和活動部と共催	辻信一 (文化人類学者、 明治学院大学教授)	64
8月10日	原水爆禁止 2018 年世界大会海外代表の 集い (神戸市勤労会館多目的ホール)	海外代表の方々との 交流・対話	レイチェル・メリー、ジェラルド・ ロス、イ・ジュンキュ	35
9月8日	被爆の実相と核兵器廃絶の願い (兵庫県保険医協会会議室)	講演会。非核の政府を 求める兵庫の会に協賛	小林愛子 (張本勲の姉、被曝体験語り部)	30
9月28日	ヒアリング (コープこうべ)	原発に依存しない エネルギーについて学ぶ	益尾大佑 (コープこうべ電力事業統括)	5
11月17日	日本はなぜ「核の傘」を手放さ ないのか―日米核軍事同盟の現実	講演会。非核の政府を 求める兵庫の会に協賛	太田昌克 (共同通信編集委員)	45
12月1日	学び 語り合い 繋がる会 1 (喫茶 エスポワール)	非核への願い	竹田雅博	16
3月16日	学び 語り合い 繋がる会 2	あなたの幸福度は?	池田清 (元松蔭女子学院大学教授)	14
3月22日	巨大広告企業の利権と プロパガンダ (神戸市勤労会館)	講演会。非核の政府を 求める兵庫の会に協賛	本間龍 (ノンフィクション 作家・元博報堂社員)	28
延参加人数 (全8回)				237

Ⅱ . 国際理解・多文化共生事業

国際相互支援部

代表 掛橋智佳子
メンバー 7人

● 活動方針・目標

- ・引き続き勉強会や、他団体のイベントへの参加を通して、難民問題について学ぶ。学びから人権意識の問い直しを図る。
- ・地域社会、世界で起きている事々に着目し、見る目を養う。
- ・世界のYWCAからの要請（緊急支援など）に応える。

● 活動報告

メンバーが多忙であり、場所はできるだけ多くのメンバーが参加できるようにレストランやカフェとした。ミーティングでは目まぐるしく変わる社会状況について情報を交換した。また、国際相互支援部が参加した神戸YWCAバザーの喫茶コーナーやTTW (Taste the World、世界の料理を食べよう) の企画を話し合った。

バザーの喫茶コーナーでは、従来のケーキ販売をやめ、世界のお茶とコーヒーを提供。コーヒー販売は入室ボランティアとエキストラ珈琲株式会社の方が担当してくださった。

TTWでは、元神戸YWCA国際相互支援部メンバーで、現在はマレーシアで日本語教師をされている西岡美幸さんをお迎えした。マレーシアで一般的な朝ご飯ナシレマなどを食べながら、多文化と多宗教がバランスよく共存している国の暮らしや教育などについてお話を伺った。また2019年4月にスタートする新しい外国人材の受け入れを目の前にして、私たち自身がどう行動していけるのかを、身近な話題をもとにミニワークショップをしていただき、参加者で話し合い、考えを深めるひとときとなった。さらに、会場では世界YWCA総会への送り出し募金を行うとともに、イベント収益の一部を世界YWCA総会派遣募金へ寄付した。

年度の後半から2人の新しいメンバーを迎えることができたのは大きな喜びである。メンバー間でのつながりを深め、よりよい活動につなげていきたい。

● 活動実績

開催日	部会（場所）	主な議事内容など	参加人数	延参加人数（全回数）	平均参加人数
8月21日	第1回部会 （タウラギリ住吉店）	今年度の活動について / メンバーについて / TTWについて	7	30 （全5回）	6
10月15日	第2回部会 （ロイヤルホスト本店）	バザーへの参加について	7		
12月26日	第3回部会 （ロイヤルホスト本店）	次年度事業計画について	6		
1月28日	第4回部会 （ロイヤルホスト本店）	TTW 詳細打ち合わせ（講師参加）	6		
3月29日	第5回部会 （にしむら珈琲御影店）	次年度について	4		

開催日	プログラム・イベント名 （付記以外、神戸YWCA本館）	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
11月3日	バザー	カフェコーナーを担当	なし	5
1月14日	パレスチナ報告会 （神戸市青少年会館）	パレスチナYWCA・ユース国際会議 / オリーブ収穫プログラム報告会	小笠原純恵 （日本YWCA職員）	18
2月8日	Taste the World 世界の料理を食べよう！	多文化・他民族社会の 「マレーシアで暮らして」	西岡美幸 （ATOZ日本語学校 日本語教師）	25
延参加人数（全3プログラム）				48

Ⅲ．地域福祉事業

神戸YWCA まごの手

所長	寺内真子
居宅介護支援事業所管理者	吉田好江
ケアマネジャー	吉田好江、福嶋佳子
訪問介護事業所管理者	寺内真子
サービス提供責任者	谷口真弓、吉田里子、藤井かえ子、五十嵐英子（～2019年2月） 藤原道子（2019年3月～、障害福祉サービス）
常勤ヘルパー	川西正子（2018年12月～）
子育て支援コーディネーター	藤原道子
事務パートタイム職員	島村正、湯朝律子
登録ヘルパー	32人

● 事業方針・目標

<居宅介護支援事業所>

- ・誰もが安心して地域で暮らし続けられるように活動する。高齢になっても障がいがあっても自分らしく自立した生活ができるよう自立支援に向けたケアマネジメントをする。
- ・資質向上に努め、介護、医療、多職種と連携する。
- ・地域のあんしんすこやかセンターや神戸YWCAの地域活動と連携する。

<訪問介護事業所>

- ・利用者ができるだけ長く自分の家で、自分らしい生活を送ることができるよう支援する。
- ・よりよいサービス提供につながるよう、職員研修を充実し、スキルアップに努める。
- ・よりよいサービス提供につながるよう、組織体制を見直す。
- ・次代を担う人材を確保し、育成する。
- ・生活支援訪問サービスをスタートするための体制づくりを行なう。

● 事業報告

昨年度末で主任ケアマネジャーと、サービス提供責任者1人が退職し、新体制でのスタートとなった。登録ヘルパー数の減少など、担い手不足によりサービス提供時間が減少している。介護人材不足は、社会的にも大きな問題となっているが、まごの手においても、同様の課題を抱えている。そのような状況で、12月には、

新しく常勤ヘルパーを迎えることができた。

今年度より要支援者への訪問介護サービスが神戸市総合事業に全面移行し、生活支援訪問サービス提供も始まった。生活支援訪問サービスは、神戸市の指定する2日間の研修を受講すれば、従事者になることができるが、登録従事者は1人のみにとどまっている。

今年度は処遇改善加算(1)の申請を行った。就業規則を整備し、研修にも力を入れた。よりよいサービスが提供できるように組織を整え、環境づくりに力を入れると同時に、介護の担い手を増やしていきたい。

● 事業実績

● まごの手事務会・プログラム等

プログラム、ミーティング等(神戸YWCA本館)	在籍数	回数	延出席人数	平均数
事務会	8または	12	92	7.7
まごの手交流会	33	1	20	20

● 事業データ

サービス種類			2016年度 月平均	2017年度 月平均	2018年度 月平均
居宅介護 支援事業	居宅介護支援	件数	49.2	50.3	38.8
	介護予防支援/ 介護予防ケアマネジメント(委託)	件数	27.7	22.3	11.8
	件数計		76.9	72.6	50.6
訪問介護 事業	訪問介護	利用時間数	775.9	582.7	453.8
		利用者数	55.6	47.8	37.7
	介護予防訪問サービス(総合事業)	利用時間数	422.0	303.3	281.9
		利用者数	70.6	54.1	48.3
	生活支援訪問サービス(総合事業)	利用時間数			4.1
		利用者数			1.3
	障害福祉サービス(居宅介護)	利用時間数	193.3	159.4	138.8
		利用者数	17.8	17.0	14.5
	障害福祉サービス(同行援護)	利用時間数	43.4	26.5	25.1
		利用者数	4.6	17.0	4.3
	障害福祉サービス(移動支援)	利用時間数	40.8	42.7	38.3
		利用者数	4.3	4.1	3.6
	産後ホームヘルパー派遣(神戸市委託)	利用時間数	52.1	74.4	93.4
		利用者数	10.8	13.8	17.4
	養育ヘルパー派遣(神戸市委託)	利用時間数	0.0	8.3	
		利用者数	0.0	0.9	
ホームヘルプ(自費)	利用時間数	128.3	133.1	59.2	
	利用者数	29.4	30.3	13.8	
産前産後ホームヘルプ(自費)	利用時間数			20.7	
	利用者数			5.8	
認知症高齢者訪問支援員 (ほっとヘルパー)派遣(神戸市委託)	利用時間数	24.8	22.2	21.9	
	利用者数	2.0	1.9	2.0	
利用時間数(延)計			1982.8	1680.6	1137.0
利用者数(延)計			222.3	195.1	148.7

*産後ホームヘルパー派遣に養育ヘルパー派遣事業を含む。

● 内部研修(全体)

内容	主催	回数	出席者数
認知症サポーター養成講座	カフェもぐもぐ	1	12
優しい認知症ケア「ユマニチュード」DVD上映会	まごの手	1	12
カフェもぐもぐ若年性認知症フォーラム	カフェもぐもぐ	1	4
まごの手研修会4月「事例検討」	まごの手	1	6
まごの手研修会8月「おむつと排泄ケア」	まごの手	1	1
まごの手カフェ9月「新しい記録用紙の書き方/ 老計第10号の変更点/トーク&トーク」	まごの手	1	22
まごの手研修会10月「障害福祉の歴史と制度を知ってよりよい支援に繋げる」 講師:松村敏明	まごの手	1	10
まごの手研修会11月「野宿者支援の現場から～野宿をしたくない人が 野服をしなくてよいように～」講師:野々村耀(夜回り準備会)	まごの手	1	9

まごの手研修会 1月「住み慣れた街で、自分らしい暮らしを続けるために ～利用者さんのつづやき拾いから～」	まごの手	1	11
まごの手研修会 2月「市民救命士講習」 講師：大西一、野田伯明	まごの手	1	4
まごの手職員研修「事例検討の重要性と実際について」 講師：関本雅子	まごの手	1	6
高齢者虐待防止研修	まごの手	2	34

● 外部研修 / 他団体関係 (全体)

内容	主催	回数	出席者数
介護・福祉職員交流会	安心と笑顔の社会保障ネットワーク	1	1
「平成30年度医療と介護・障害サービスの報酬改正の概要と これからの地域での community-based care のあり方」	兵庫県シルバーサービス 事業者連絡協議会	1	1
神戸市シルバーサービス事業者連絡会総会・研修会	神戸市シルバーサービス事業者連絡会	1	1
兵庫県社会福祉士会総会・記念講演会 「コミュニティデザインとソーシャルワーク」	兵庫県社会福祉士会	1	1
コミュニティワーク講座	兵庫県社会福祉協議会	1	1
ひょうごん福祉ネット総会・交流会	ひょうごん福祉ネット	1	1
ひょうごん福祉ネット運営委員会	ひょうごん福祉ネット	12	1
ひょうごん福祉ネット定例会	ひょうごん福祉ネット	12	1
ひょうごん福祉ネット研修会「住宅セーフティネット って何？私たちに何が出来るの？」	ひょうごん福祉ネット	1	1

● 外部研修 / 他団体関係 (居宅介護支援事業所)

内容	主催	回数	出席者数
上筒井地域ケア会議	新神戸あんしんすこやかセンター	1	1
ケアマネ連絡協議会	三宮あんしんすこやかセンター	1	1
障害者総合支援法、障害福祉サービス研修会	中央区あんしんすこやかセンター	1	1
認知度が落ちてきた利用者のための成年後見のお話	中央区あんしんすこやかセンター・保健センター	1	1
神戸市介護予防ケアマネジメント現任者研修	神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課	1	1
中央区在宅医療・介護セミナー	神戸市中央区医療・介護連携協議会、他	1	1
神戸市認知症制度説明会	神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課	1	2
神戸市介護保険事業者説明会 (集団指導)	神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課	1	1

● 内部研修 (訪問介護事業所)

内容	主催	回数	出席者数
まごの手ヘルパー研修「調理実習」講師：竹入みち代	まごの手	1	12
2019年度ヘルパー登録説明会・研修会	まごの手	2	34

● 外部研修 / 他団体関係 (訪問介護事業所)

内容	主催	回数	出席者数
「法令遵守の管理体制」	医療経済研究・社会保険福祉協会	1	1
訪問介護事業者並びにサービス提供責任者研修	医療経済研究・社会保険福祉協会	1	1
高齢者虐待防止研修	神戸市シルバーサービス事業者連絡会	1	1
サービス提供責任者研修	介護労働安定センター	1	2
認知症高齢者訪問支援員 (ほっとヘルパー) 養成研修・ 受診同行研修	神戸市社会福祉協議会 こうべ認知症生活相談センター	1	1
同行援護従事者養成研修 (一般課程)	神戸アイライト協会	2	2
同行援護従事者養成研修 (一般課程)	神戸アイライト協会	1	1
児童虐待の現状と課題	神戸市こども家庭センター	1	1

中央区在宅医療・介護セミナー	神戸市中央区医療・介護連携協議会、他	1	3
神戸市認知症制度説明会	神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課	1	2
上筒井地域ケア会議	新神戸あんしんすこやかセンター	1	1
北野地域ケア会議	三宮あんしんすこやかセンター	1	1
福祉実習教育研究会	神戸女子大学	1	1
生活支援訪問サービス事業者説明会	神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課	1	1
神戸市介護保険事業者説明会（集団指導）	神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課	1	1

神戸 YWCA 保育園

園長 梅川玲子
 保育士 平田早貴、大江麻衣、西岡奈美、竹田孝子、藤原道子、村越彩（9月～）、西本慰子（～1月）
 山口菜穂（～3月）
 管理栄養士 須山とも子
 調理員 西川敬子

● 事業方針・目標

- ・子どもたちの健やかな成長と幸せを実現すると共に、お母さんたちのための場を作る。
- ・保育園に連なるものみんなが心を動かす体験を積み重ねる。

● 事業報告

2018年度は7時30分～18時30分の保育時間の中で11人の子どもたちが在籍した。2018年3月には6人の2歳児が巣立っていき、規模の大きな保育園に転園が決まった0～1歳児の子どもが4人いた。そのため4月当初は新入児を加えても、7人の在園となった。3歳児からの保育園への入園が困難であるため、0～1歳児のうちに転園希望を出す人がいる。そのことが小規模保育園の園児数に大きくかかわってくる。2018年度は0歳児で神戸YWCA保育園を希望してくださる方が多く、受け入れ人数を変更して0歳児の数を増やした。ただ、2歳児は子ども同士のやり取りが育つ時期なので3人というのは少なく、6人確保は課題として実現させたい。

今年度から、近隣の公園だけでなく、1～2歳児は片道30分以上かけて歩き、いつもと違う公園に出かけた。その日は自分でおにぎりを作り、お弁当を持って出かけることでわくわく感を増やす経験をした。「友だちと手をつなげば歩きとおせる」という子ども同士のつながりも見えてきている。今後も継続する。

● 保育園園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	0	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	3
1歳	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2歳	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2
計	7	10	9	10	11	11	11	11	11	11	9	9

地域福祉部

代表 井上みち子
 メンバー 6人
 担当職員 塩見洋子

● 活動方針・目標

①分室の地域交流スペースとしての活用

- ・分室の目的、情報発信のあり方（パンフやHP、掲示板）などを含めた中期計画（今年度は「生かす」2年目）に沿って、実施していく。
- ・各グループの課題をつかみ、解決に向けた取り組みを行なう。
- ・利用者の声を聞き、ボランティアとスタッフの協働をすすめる。

②「わいわい通信」を年1回発行する。

③分室ボランティアの親睦と交流のために「互苦労さん会」を行なう。

● 活動報告

今年度は「地域交流スペース」をめざす中期計画の「生かす」2年目として経過した。①「木曜カフェ」は13~16時にオープン②「木曜カフェ」と「くるくる」は、地域メンバーが交代で担当する③木曜カフェの時間に活動するグループを増やす④関わるボランティアを募集する、とした。半年が経過して、13時過ぎにカフェにやって来る人や有機野菜販売を待つ人がぼつぼつ現れた。「木曜カフェ」や「くるくる」は担当チームの態勢が整ってきたので、担い手を増やしたい。待合スペースは「音楽セッション」や「バザーワークショップづくり・ちくちく」が活用している。活かせる取り組みやグループを募りたい。

「わいわい通信 28号」は3月初旬に発行。今号の特集テーマは「みつけた、私の居場所」。分室で活動するボランティアや集う利用者さんが生き生きと過ごされている。皆さんの声を集めたり、体験を語り合ったりしたことをまとめた。人の役に立とうとボランティアにやって来て、利用者さんや他のボランティアと出会い、交流するのが大きな楽しみと活動の原動力となっていることが明らかとなった。

分室ボランティアの交流と親睦を深める恒例の「互苦労さん会」は8回目の開催、22人が集った。今後の地域福祉活動を論議する「分室ミーティング」と同じ日の午後に行なわれた。

● 活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
5月17日	第1回部会	2018年度の活動方針と活動計画の確認・具体化について	8	44 (全7回)	6
7月19日	第2回部会	わいわいランチの財政分析、各グループの課題について	6		
10月18日	第3回部会	わいわい通信 28号の発行に向けて	6		
11月29日	第4回部会	わいわい通信 28号の発行に向けて、原稿分担等	7		
1月17日	第5回部会	わいわい通信 28号の原稿検討、体裁等について	8		
1月31日	第6回部会	わいわい通信 28号全体の検討、体裁等について	5		
3月25日	第7回部会	わいわい通信 28号の発送作業	4		

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数
4月5～ 3月28日 毎週木曜日 (計45回)	木曜カフェ	地域の人々が気軽に立ち寄れるスペース。コーヒー、紅茶あり。有機野菜、パン、焼菓子、無添加調味料、乾物等の販売。カフェオープンに合わせて待合スペースでは地域福祉部会や「ちやいやあらんど」と「夜回り準備会」の打ち合わせ、「音楽セッション」、「ちくちくの会」が開かれた。	コーヒー、紅茶：249杯 オープンスペース 来客数：416人 オープンスペースへの出店： いちじま丹波太郎、えんぴつの家など連携団体。
第3木曜日 (計10回)	地域のお店「くるくる」	「使い捨てをしない、丁寧な生活」をモットーに、子ども服と女性服、アクセサリ等を集め、適切に提供するスペースを開く。	4/19：15人、5/17：15人 6/21：10人、7/19：10人 9/20：10人、10/18：15人 11/15：15人、12/20：7人 1/17：8人、2/21：13人 計118人
延参加人数（全2プログラム）			939

グループ

わいわいランチ

代表 井上みち子
メンバー 45人
アルバイトスタッフ 井上早苗、長江麻紀
担当職員 塩見洋子

● 活動方針・目標

昼食の配食サービスを行なうことで、ひとり暮らしの高齢者やそれに準じる方、障がいをもつ方が、住みなれた地域で、これまでの暮らしを続けていけるように食生活面から支える。

● 活動報告

神戸YWCA分室を拠点に、毎週月～金曜日に高齢者に昼食のお弁当を届けて21年目となる。利用者の75%は80代～90代。ひとり暮らしの方には、お顔を見ての受け渡しや声かけを心がけてきた。「いつもおいしくいただいています」「手の込んだお総菜がうれしいわ」などの利用者の声が活動の励みである。

2018年度配食数は、昨年より311食増え、6,838食となった(1日平均29.3食/昨年度27.9食)。

入院をきっかけにお弁当を止めた方が6人、9月以降の新しい利用者7人が4.5%増につながっている。配食数が30食を超える日が増えて、10時50分には配達に出かけたいが、なかなか難しい。

配膳や配達ボランティアに参加できなくなった人が今年は4人。運転のローテーションが崩れかけ、一部の人の負担が大きくなっている。新たな仲間は5人。特に運転できる人や車に乗れる人を大募集中である。

● 活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA分室)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
6月11日	月曜メンバー ランチミーティング	活動意義・目標、年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	8人	47 (全6回)	7
6月12日	火曜メンバー ランチミーティング	活動意義・目標、年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	6人		
6月13日	水曜メンバー ランチミーティング	活動意義・目標、年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	8人		
6月14日	木曜メンバー ランチミーティング	活動意義・目標、年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	7人		
6月15日	金曜メンバー ランチミーティング	活動意義・目標、年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	8人		
9月18日	調理担当者ミーティング	調理者担当日の確認、調理マニュアルの見直しなど	10人		

月	配食日数	ランチ配食数	ランチボランティア配食数	全配食数*
4月	20	574	151	854
5月	21	623	165	915
6月	21	604	163	913
7月	21	614	155	906
8月	18	517	132	748
9月	17	525	123	767
10月	22	681	153	1,000
11月	21	609	155	915
12月	15	438	115	967
1月	18	544	123	791
2月	19	557	139	840
3月	20	552	147	867
合計	233	6,838	1,721	10,483

*全配食数には、ランチ配食、会食、グループ活動での昼食、ボランティアの食事、本館への配達などを含む。

開催日	プログラム (神戸YWCA分室)	主な内容	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
毎月 第3金曜日	金曜食事会	在宅生活を送る高齢者が集い、共に会食する場の提供	99人(12)	8

わいわいダイルーム

サービス責任者 新井育子、高原佐美、川上和恵
メンバー 5人
担当職員 寺内真子

● 活動方針・目標

- ・地域の高齢者が、できるだけ長く、生き生きとした豊かな在宅での生活を送ることができるよう、仲間づくり、生きがいくくり、健康づくりのためのプログラムを提供する。
- ・利用者が安心して在宅生活を続けることができるよう、介護・医療・福祉などの専門職との顔の見える関係をつくり、連携を図る。
- ・利用者、スタッフ、ボランティアが共に昼食の食卓を囲み、わいわいランチの手づくりの食事をいただくことにより、心と体の栄養を向上させる。

● 活動報告

わいわいデイルームは、毎週火曜日 10時から 15時まで、神戸YWCA分室で開催している。3月現在の登録利用者は7人。登録のみの1人を除いて、よく参加されている。今年度は総合事業の地域拠点型一般介護予防事業の新制度に移行して2年目を迎えた。専門職を講師に迎えて開催する介護予防講座や介護予防教室などのプログラムも定着してきた。近隣の医療専門職との関係づくりもできており、地域包括ケアの一端を担うことができている。また、利用者やボランティアの仲間づくりもよくできており、わいわいランチの手づくり昼食やおやつなど、皆と一緒に食べる時間も大きな楽しみである。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	講師名 サービス責任者名	参加人数	
				利用者	スタッフ
4月3日	第1回 わいわいデイルーム	クラフトづくり	講師：後藤あけみ サービス責任者：新井育子	6	5
4月10日	第2回 わいわいデイルーム	書道	講師：大工原則子 サービス責任者：新井育子	6	4
4月17日	第3回 わいわいデイルーム	介護予防講座	講師：高橋瑞枝（看護師） サービス責任者：高原佐美	6	6
4月24日	第4回 わいわいデイルーム	介護予防教室 (音楽療法)	講師：川上和恵（音楽療法士） サービス責任者：新井育子	4	5
5月1日	第5回 わいわいデイルーム	クラフトづくり	講師：後藤あけみ サービス責任者：新井育子	6	5
5月8日	第6回 わいわいデイルーム	カロムゲーム	サービス責任者：新井育子	5	5
5月15日	第7回 わいわいデイルーム	介護予防講座	講師：谷合公江（作業療法士） サービス責任者：新井育子	5	5
5月22日	第8回 わいわいデイルーム	理科実験工作	講師：わいわい科学クラブ サービス責任者：高原佐美	6	5
5月29日	第9回 わいわいデイルーム	介護予防教室（運動）	講師：狩山晴奈（健康運動指導士） サービス責任者：新井育子	5	5
6月5日	第10回 わいわいデイルーム	クラフトづくり	講師：後藤あけみ サービス責任者：新井育子	6	5
6月12日	第11回 わいわいデイルーム	介護予防教室 (音楽療法)	講師：川上和恵（音楽療法士） サービス責任者：新井育子	6	11
6月19日	第12回 わいわいデイルーム	介護予防講座	講師：池端伯子（歯科医師） サービス責任者：高原佐美	5	7
6月26日	第13回 わいわいデイルーム	オープン陶芸	サービス責任者：新井育子	5	6
7月3日	第14回 わいわいデイルーム	クラフトづくり	講師：後藤あけみ サービス責任者：新井育子	6	5
7月10日	第15回 わいわいデイルーム	介護予防講座	講師：小坂茜（理学療法士） サービス責任者：新井育子	5	5
7月17日	第16回 わいわいデイルーム	笑いヨガ	講師：植田あや子 サービス責任者：高原佐美	5	5
7月24日	第17回 わいわいデイルーム	介護予防教室（運動）	講師：狩山晴奈（健康運動指導士） サービス責任者：新井育子	5	4
7月31日	第18回 わいわいデイルーム	クラフトづくり	講師：青柳正 サービス責任者：新井育子	5	5
8月7日	第19回 わいわいデイルーム	クラフトづくり	講師：後藤あけみ サービス責任者：新井育子	5	5
8月21日	第20回 わいわいデイルーム	介護予防講座	講師：沼田恵実（薬剤師） サービス責任者：高原佐美	5	6
8月28日	第21回 わいわいデイルーム	介護予防教室（音楽療法） 書道	講師：高原佐美（音楽療法士）、 大工原則子 サービス責任者：川上和恵	4	5
9月4日	第22回 わいわいデイルーム	介護予防教室（音楽療法） クラフトづくり	講師：後藤あけみ サービス責任者：新井育子	荒天のため中止	
9月11日	第23回 わいわいデイルーム	クラフトづくり	講師：徳岡和美 サービス責任者：新井育子	5	6
9月18日	第24回 わいわいデイルーム	介護予防教室 (音楽療法)	講師：川上和恵（音楽療法士） サービス責任者：新井育子	4	6
9月25日	第25回 わいわいデイルーム	介護予防講座	講師：東海林真喜子（看護師） サービス責任者：高原佐美	4	5
10月2日	第26回 わいわいデイルーム	クラフトづくり	講師：後藤あけみ サービス責任者：新井育子	5	5

10月9日	第27回 わいわいデイルーム	介護予防教室 (音楽療法)	講師：高原佐美 (音楽療法士) サービス責任者：新井育子	6	6
10月16日	第28回 わいわいデイルーム	歌	講師：時田直也 (声楽家) サービス責任者：新井育子	5	6
10月23日	第29回 わいわいデイルーム	介護予防講座	講師：中谷優花 (管理栄養士) サービス責任者：高原佐美	6	6
10月30日	第30回 わいわいデイルーム	理科実験工作	講師：わいわい科学クラブ サービス責任者：新井育子	3	4
11月6日	第31回 わいわいデイルーム	みかんアート	講師：後藤あけみ サービス責任者：新井育子	6	3
11月13日	第32回 わいわいデイルーム	介護予防教室 (音楽療法)	講師：高原差未 (音楽療法士) サービス責任者：新井育子	6	5
11月20日	第33回 わいわいデイルーム	介護予防講座	講師：西倉加奈 (薬剤師) サービス責任者：高原佐美	6	7
11月27日	第34回 わいわいデイルーム	理科実験工作	講師：わいわい科学クラブ サービス責任者：新井育子	6	5
12月4日	第35回 わいわいデイルーム	クラフトづくり	講師：後藤あけみ サービス責任者：新井育子	7	5
12月11日	第36回 わいわいデイルーム	介護予防教室 (音楽療法) 介護予防講座	講師：高原佐美 (音楽療法士) 講師：谷合公江 (作業療法士) サービス責任者：新井育子	6	7
12月18日	第37回 わいわいデイルーム	クリスマス会	サービス責任者：高原佐美	7	7
1月8日	第38回 わいわいデイルーム	書き初め	サービス責任者：新井育子	4	4
1月15日	第39回 わいわいデイルーム	介護予防教室 (運動)	講師：狩山晴奈 (健康運動指導士) サービス責任者：新井育子	6	4
1月22日	第40回 わいわいデイルーム	介護予防講座	講師：山本陽子 (保健師) サービス責任者：高原佐美	5	4
1月29日	第41回 わいわいデイルーム	介護予防講座	講師：高橋瑞枝 (看護師) サービス責任者：新井育子	5	4
2月5日	第42回 わいわいデイルーム	クラフトづくり	講師：後藤あけみ サービス責任者：川上和恵	5	3
2月12日	第43回 わいわいデイルーム	クラフトづくり	講師：徳岡和美 サービス責任者：新井育子	6	4
2月19日	第44回 わいわいデイルーム	介護予防講座	講師：小坂茜 (理学療法士) サービス責任者：高原佐美	5	6
2月26日	第45回 わいわいデイルーム	介護予防教室 (音楽療法)	講師：川上和恵 (音楽療法士) サービス責任者：新井育子	5	5
3月5日	第46回 わいわいデイルーム	クラフトづくり	講師：後藤あけみ サービス責任者：新井育子	6	5
3月12日	第47回 わいわいデイルーム	介護予防教室 (運動)	講師：狩山晴奈 (健康運動指導士) サービス責任者：新井育子	6	5
3月19日	第48回 わいわいデイルーム	介護予防講座	講師：谷合公江 (作業療法士) サービス責任者：高原佐美	4	6
3月26日	第49回 わいわいデイルーム	理科実験工作	講師：わいわい科学クラブ サービス責任者：新井育子	4	4
延参加人数 (全48回)				254	251

わいわい亭

代表 三浦啓子
メンバー 7人

● 活動方針・目標

在宅生活を送る高齢者に栄養ある食事と楽しく過ごせる居場所を提供し、住み慣れた地域で豊かな暮らしを長く続けられるようにサポートする。

● 活動報告

毎月第2・第4水曜日、11時～13時30分に神戸YWCA分室で、昼食会を開催している。参加費は700円/回。利用者は近隣の、主にひとり暮らしの高齢者で、在籍数は12人である。今年度の参加は平均8.9人/回。猛暑などの影響もあり、昨年度よりやや少なくなったのが残念だ。

利用者が一番の楽しみは食事内容である。毎回わいわいランチと同じ献立を、塗りのお弁当箱に彩りよく盛り付けて提供する。また、利用者の体調や嗜好に配慮して、ごはんの量や主菜の内容を変え、美味しく完食してもらえるように努めている。デザートも趣向を凝らしており、ボランティアの手づくりケーキも登場して、昼食会が一層楽しく盛りあがる。

第4水曜日は食後に約30分、歌唱の時間を設けている。橋本静子さんのピアノ演奏で、好きな歌を順番にリクエストして唄う。青春時代を思い出し、音楽の力で高齢者も生き生きと若返ってこられる。ボランティアも、後片づけをしながら一緒に口ずさみ楽しむ。

今はボランティアがなんとか確保され、きめ細かな対応ができるので、少しでも参加者を増やし、高齢者の生活サポートに貢献したい。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (全て神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数	
			利用者	ボランティア
4月11日	第1回わいわい亭	食事会と交流	8	5
4月25日	第2回わいわい亭	食事会と歌唱、交流	11	5
5月9日	第3回わいわい亭	食事会と交流	8	4
5月23日	第4回わいわい亭	食事会と歌唱、交流	8	4
6月13日	第5回わいわい亭	食事会と交流	10	5
6月27日	第6回わいわい亭	食事会と歌唱、交流	11	5
7月11日	第7回わいわい亭	食事会と交流	10	4
7月25日	第8回わいわい亭	食事会と歌唱、交流	8	4
8月22日	第9回わいわい亭	食事会と歌唱、交流	9	4
9月12日	第10回わいわい亭	食事会と交流	8	4
9月26日	第11回わいわい亭	食事会と歌唱、交流	11	6
10月10日	第12回わいわい亭	食事会と交流	7	5
10月24日	第13回わいわい亭	食事会と歌唱、交流	9	5
11月14日	第14回わいわい亭	食事会と交流	6	5
11月28日	第15回わいわい亭	食事会と歌唱、交流	9	5
12月12日	第16回わいわい亭	食事会とクリスマス会	7	7
1月9日	第17回わいわい亭	食事会と交流	10	5
1月23日	第18回わいわい亭	食事会と歌唱、交流	8	6
2月13日	第19回わいわい亭	食事会と交流	11	4
2月27日	第20回わいわい亭	食事会と歌唱、交流	10	4
3月13日	第21回わいわい亭	食事会と交流	9	4
3月27日	第22回わいわい亭	食事会と歌唱、交流	7	6
延参加人数(全22回)			195	106

弓の木歌の集い

代表 橋本静子
メンバー 2人

● 活動方針・目標

歌を通して生活の活性化と親睦を図る。

● 活動報告

弓木南市営住宅集会室において、当市住の高齢者会「むつみの会」の有志を対象に、用意された歌集からリクエストされる歌曲を、キーボードの伴奏で歌う。従来は毎月第3水曜日の14時～16時だったが、参加者からの要望により、今年から毎月第3火曜日14時～15時に変更。1時間は瞬間に過ぎるが、参加者にとってこれくらいのほうが負担にならなくてよいと思う。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (弓木南市営住宅)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月17日	第1回 弓の木歌の集い	葬儀のため休会		0
5月15日	第2回 弓の木歌の集い	歌と親睦	三島孝子・橋本静子	7
6月19日	第3回 弓の木歌の集い	歌と親睦	三島孝子・橋本静子	7
7月17日	第4回 弓の木歌の集い	歌と親睦	大工原則子・橋本静子	9
8月21日	第5回 弓の木歌の集い	歌と親睦	三島孝子・橋本静子	8
9月18日	第6回 弓の木歌の集い	歌と親睦	三島孝子・橋本静子	6
10月16日	第7回 弓の木歌の集い	歌と親睦	大工原則子・橋本静子	8
11月13日	第8回 弓の木歌の集い	歌と親睦	三島孝子・橋本静子	8
12月18日	第9回 弓の木歌の集い	歌と親睦	大工原則子・橋本静子	9
1月15日	第10回 弓の木歌の集い	歌と親睦	三島孝子・橋本静子	9
2月19日	第11回 弓の木歌の集い	歌と親睦	大工原則子・橋本静子	9
3月19日	第12回 弓の木歌の集い	歌と親睦	三島孝子・橋本静子	8
延参加人数 (第1回が休会のため、全11プログラム)				88

ちやいやあらんど

代表 宮田泰子
メンバー 4人

● 活動方針・目標

- ・子育て中の家族支援、特に就学前の子どもを持つ母親の仲間づくり、リラックスできる場所づくりを支援する。
- ・参加者とともに親と子どもが楽しく集える場をつくる。
- ・地域や社会を知りつなげる。
- ・分室での異世代間交流・異文化交流を楽しむ。

● 活動報告

定例会は第1・第3水曜日の11時～15時に活動。

2018年度は昨年度に引き続き、年長の子どもと親に加えて、出産後の育児休暇を利用して参加するメンバーが新たに加わった。年齢によって時間帯を分ける工夫を行なった。

子どもたちは今年もハロウィン、クリスマス、夏の水遊びなど季節のプログラムや「おやつをつくらう会」、青柳さんの手づくりゲームなどを楽しんだ。また、夏休みに小学校の子どもたち(きょうだい)の宿題応援プログラム「寺子屋ちやいや」を実施、近年はきょうだいを含めた家族ぐるみのグループとなり、1日の時間帯によっていろいろな活動が展開して賑わっている。

ママたちはハンドマッサージ、大人の塗り絵、塩麴料理講習、ハーバリウム、手形アート、ちょっとリッチなおやつの会など、自分たちの楽しみを見つけて企画に挑戦してきた。

5月より新たにぬいぬいの会(布のおもちゃづくり)の取り組みが試行的に始まった。月1回(概ね第4金曜日)阿部真理子さん(「布おもちゃ作りボランティアほたる」代表)の指導のもと、創作の喜びの時間を過ごしている。

次年度も異文化交流、地域や社会を知りつなげることなどを積極的に考えていきたい。

● 活動実績

開催日	プログラム、イベント名 (付記以外、神戸YWCA分室)	講師名等	活動対象者		その他		総計
			大人	乳幼児	参加者	ボランティア	
4月4日	第1回 手づくりおもちゃで遊ぶ	青柳	5	9	1	3	18
4月13日	第2回 ぬいぬいの会(布のおもちゃづくり)	阿部	4	5	1	3	13
4月18日	第3回 おしゃべりママの会		5	7		2	14
5月16日	第4回 アロマでリラックス(ハンドマッサージ)	岸本	6	5	1	3	15
5月25日	第5回 ぬいぬいの会(布のおもちゃづくり)	阿部	5	4	1	1	11

5月30日	第6回	おしゃべりママの会		3	5		3	11
6月6日	第7回	キックオフミーティング準備		5	5		2	12
6月20日	第8回	大人のぬり絵		12	8		3	23
6月22日	第9回	ぬいぬいの会 (布のおもちゃづくり)	阿部	5	5	1		11
7月4日	第10回	大人のぬり絵		7	4		3	14
7月18日	第11回	そうめん流し		8	12	2	2	24
7月27日	第12回	寺子屋ちやいや	岸本		6	1	3	10
8月1日	第13回	プールを楽しむ・フルーツポンチをつくろう		4	8		3	15
8月3日	第14回	大人のぬり絵		3	5		2	10
8月25日	第15回	大人のぬり絵		4	10		3	17
8月29日	第16回	アイスを食べよう		6	11		3	20
9月5日	第17回	おしゃべりママの会		5	6		4	15
9月14日	第18回	ぬいぬいの会 (布のおもちゃづくり)	阿部	3	3	1	2	9
9月19日	第19回	おしゃべりママの会		3	5		3	11
9月28日	第20回	ぬいぬいの会 (布のおもちゃづくり)	阿部	3	3	1	2	9
10月3日	第21回	おしゃべりママの会		4	5		3	12
10月17日	第22回	おしゃべりママの会		4	4		3	11
10月31日	第23回	ハロウィン		10	10		4	24
11月7日	第24回	ハンドマッサージ・フットマッサージ	岸本	9	13	1	2	25
11月20日	第25回	塩麹料理講習	田中	7	5	1	3	16
11月30日	第26回	ぬいぬいの会 (布のおもちゃづくり)	阿部	4	4	1	2	11
12月5日	第27回	松笠のクリスマスツリーづくり	木村	6	9		2	17
12月14日	第28回	ぬいぬいの会 (布のおもちゃづくり)	阿部	4	4	1	3	12
12月19日	第29回	クリスマス会		10	13	1	3	27
1月16日	第30回	おしゃべりママの会		7	7		3	17
1月30日	第31回	ハーバリウムづくり	川関	9	11	1	3	24
2月6日	第32回	つくろう会 (ぜんざい)		4	4		3	11
2月20日	第33回	おしゃべりママの会		11	14		3	28
2月22日	第34回	ぬいぬいの会 (布のおもちゃづくり)	阿部	4	3	1	3	11
3月6日	第35回	手形アート	藤井	12	16	1	3	32
3月8日	第36回	ぬいぬいの会 (布のおもちゃづくり)	阿部	4	2	1	3	10
3月13日	第37回	つくろう会 (イチゴ大福)		8	11		3	22
3月22日	第38回	ぬいぬいの会 (布のおもちゃづくり) (神戸YWCA本館)	阿部	4	2	1	2	9
3月29日	第39回	ぬいぬいの会 (布のおもちゃづくり)	阿部	4	3	1	2	10
延参加人数 (全39回)				221	266	16	103	478

夜回り準備会

代表 野々村耀
メンバー 10人

● 活動方針・目標

昨年度に引き続き、夜回り活動そのものの継続が大きな活動目標である。参加メンバーそれぞれの生活事情の変化にもよるところが大きい、それぞれの働き方や生活の事情そのものが貧困問題に直結していると感じられることもある。夜回りから、野宿・貧困の問題が起こる背景を考えたり、それが自分たちとどうつ

ながっているか、社会全体を考えられるような取り組みをしていきたい。昨年度は、勉強会や、見学会など、それぞれの意識を深めるための活動が不足していたため、今年度の課題としたい。さらに、従来の冊子型から形式は変わる予定であるが、夜回りをしていて感じたこと、気づいたこと、貧困に関することを、報告書として作成したいと考えている。

● 活動報告

①概要

夜回りは月2回を維持できた。病院訪問、福祉事務所同行などは必要な時に行なった。ミーティングは月例は維持できず、年間4回ぐらい。「神戸越年・越冬活動」では1日調理を担当した。報告書は昨年度同様ニュースレター型で発行の準備作業中。チラシを作りメンバーを募集している。

②今年度の特徴

毎回参加できるコアメンバーと運転できる人が足りない。社会状況はますます不安定になるだろう（外国人労働者問題、福祉切り下げ、格差拡大、規制緩和等々）他方、野宿さえ難しくなって、不可視化が進んでいる。掘り下げが必要だが、勉強会などが足りない（共通理解が不足）。

③活動方針・目標に対する評価と課題

活動は現状維持で精一杯。襲撃や追い出しへの対応は不十分だった。野宿を生む背景を掘り下げる話し合いや学習ができなかった。今後の（東京五輪・大阪万博後の）見通しが必要。コアメンバーを増やす必要があるが、簡単ではない。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	夜回り先件数 ()は出会った人数	参加人数
4月14日	第1回 夜回り	灘、東灘地域で野宿生活をしている人の訪問活動。 その人が望むようなかたちで暮らすことの手伝いをしたいと考えている。	3(3)	2
4月28日	第2回 夜回り	〃	3(2)	2
5月12日	第3回 夜回り	〃	3(2)	4
5月26日	第4回 夜回り	〃	3(2)	3
6月9日	第5回 夜回り	〃	3(2)	3
6月23日	第6回 夜回り	〃	2(2)	5
7月14日	第7回 夜回り	〃	2(2)	2
7月28日	第8回 夜回り	〃	2(2)	3
8月11日	第9回 夜回り	〃	3(3)	3
8月25日	第10回 夜回り	〃	2(2)	3
9月8日	第11回 夜回り	〃	2(2)	2
9月22日	第12回 夜回り	〃	2(2)	2
10月13日	第13回 夜回り	〃	2(2)	3
10月27日	第14回 夜回り	〃	2(2)	2
11月10日	第15回 夜回り	〃	2(2)	3
11月24日	第16回 夜回り	〃	2(2)	2
12月8日	第17回 夜回り	〃	2(2)	3
12月22日	第18回 夜回り	〃	2(2)	4
1月12日	第19回 夜回り	〃	3(2)	2
1月26日	第20回 夜回り	〃	2(2)	3
2月9日	第21回 夜回り	〃	2(2)	3
2月23日	第22回 夜回り	〃	3(2)	3
3月9日	第23回 夜回り	〃	2(2)	4
3月23日	第24回 夜回り	〃	2(2)	2
延参加人数 (全24プログラム)			56 (50)	68

開催日	プログラム名 (場所)	テーマ・主な内容	出会った人数	参加人数
12月30日	神戸「冬の家」越年 越冬活動（東遊園地）	神戸「冬の家」越年越冬活動に参加 (12月30日調理担当・カレー)	180	20
	病院訪問（日赤病院）	休み		
延参加人数（1プログラム）			180	20

声の奉仕

代表 中山君子、安藤時子
メンバー 10人

● 活動方針・目標

視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行なう。技術向上のため月2回講師による朗読の学習、指導を受け、所属している日本赤十字社兵庫県支部 声の図書赤十字奉仕団（以下「日赤声の奉仕団」）を通じ、各種図書の録音・編集・デジタル化などしたものをリスナーに発送。

● 活動報告

毎月第2・第4火曜日に例会を行ない、永田講師にご指導を頂き朗読のスキルを高めた。
日赤声の奉仕団が製作する声の月刊誌「花時計」9月号・1月号、季刊誌「つちのこ」秋号の企画録音編集を担当。毎月「PHP」担当箇所の録音および4月・11月号の編集作業、「日赤声のアルバム」の編集、CD製作とモニターを行なっている。

単行図書2冊を録音、デジタイズ図書として貸し出しを行なっている。
また、日赤声の奉仕団の運営委員会、デジタイズ図書ミーティングなど、各専門部例会に参加している。
毎年恒例の利用者（リスナー）との交流会を11月23日に実施（日赤声の奉仕団行事）。リスナー、同行者、団員など160人が参加し、楽しく交流しながら「声のアルバム」や単行図書について意見交換を行なった。
録音図書の編集勉強会を実施し、個々人のレベルアップを図った。

今後も各自朗読の上達を目指して一層努力し、リスナーによりよい録音図書を届けたい。1月より酒井講師に指導頂く。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月10日	第1回例会・勉強会	日赤委員会報告・つちのこ・花時計9月号企画	自主勉強	9
4月24日	第2回例会・勉強会	日赤総会報告・勉強会	永田	9
5月8日	第3回例会・勉強会	日赤委員会報告・デジタイズミーティング報告	自主勉強	9
5月22日	第4回例会・勉強会	花時計9月号企画・勉強会	永田	9
6月12日	第5回例会・勉強会	日赤委員会報告・勉強会	永田	9
6月26日	第6回例会・勉強会	日赤委員会報告・交流会企画	自主勉強	9
7月24日	第7回例会・勉強会	デジタイズ編集研修	自主勉強	7
8月28日	第8回例会・勉強会	日赤委員会報告、交流会準備報告、勉強会	自主勉強	8
9月11日	第9回例会・勉強会	デジタイズミーティング報告・花時計1月号企画	自主勉強	8
9月25日	第10回例会・勉強会	日赤委員会報告・花時計1月号企画	自主勉強	9
10月9日	第11回例会・勉強会	交流会準備報告・花時計1月号企画・勉強会	自主勉強	8
10月23日	第12回例会・勉強会	交流会準備報告・勉強会	自主勉強	9
11月13日	第13回例会・勉強会	交流会準備報告・つちのこ4月号企画・勉強会	自主勉強	7
11月27日	第14回例会・勉強会	交流会反省会・つちのこ4月号企画・勉強会	自主勉強	7
12月11日	第15回例会・勉強会	日赤委員会報告・勉強会	自主勉強	9
1月8日	第16回例会・勉強会	デジタイズミーティング報告・勉強会	自主勉強	6
1月22日	第17回例会・勉強会	2018年度体制・勉強会	酒井	7
2月12日	第18回例会・勉強会	日赤委員会報告・勉強会	自主勉強	8
2月26日	第19回例会・勉強会	勉強会・見学者	酒井	8

3月12日	第20回例会・勉強会	デージーミーティング報告・日赤総会案内	自主勉強	8
3月26日	第21回例会・勉強会	花時計9月号、つちのこ秋号企画、勉強会	酒井	7
延参加人数（全21回）				170

開催日	プログラム、イベント名（場所）	テーマ、主な内容	参加人数
18回程度	声の情報誌「花時計」の製作（日赤兵庫県支部、各自宅）	約60分のデージーCDの録音、編集、校正など	98
22回程度	声の情報誌「つちのこ」の企画/製作（日赤兵庫県支部、各自宅）	デージーCDの企画、録音、編集、校正など	98
12回程度	「PHP」担当箇所の録音（日赤兵庫県支部、各自宅）	月刊誌「PHP」の担当箇所の録音	24
6回程度	「PHP」の全編編集（デージー化）（日赤兵庫県支部）	日赤声奉仕団の各グループが録音したものを編集	12
11月23日	リスナーとの交流会（日赤兵庫県支部）	（日赤声奉仕団行事）リスナーとの交流	9
2回	（小中学校）学校講習（各学校）	（日赤声奉仕団行事）点字や視覚障がい者へのサポート方法を指導	3
24回	「PHP」割り振り表の作成・梓アナ録音（日赤兵庫県支部、各自宅）	月刊誌PHP読み箇所を決め割り振り・各グループに案内する	24
50回程度	日赤声奉仕団の運営委員会、朗読勉強会、デージー班・朗読音訳を見直す会・点字班・単行図書検討会の各例会など（日赤兵庫県支部）	日赤声奉仕団の活動等に関する会議朗読勉強会	88
延参加人数（全8プログラム）			356

カフェもぐもぐ

代表 宮田泰子
 メンバー 10人
 担当職員 塩見洋子

● 活動方針・目標

- ・コミュニティーカフェオープンを目指し、少しずつ準備を始める。
- ・当事者の声を聴きながら活動を進めていく。
- ・若年性認知症についての啓発活動を行なう。
- ・仲間を増やす。

● 活動報告

毎月第1土曜日、10時30分～15時まで分室において活動。午前にはカフェでの食事づくりと昼食、午後は交流の時、次第に仲間としての心地よさも生まれ楽しい時を過ごした。手づくりのアクセサリーなどを月1回の「くるくる」や行事などの機会をとらえて販売、活動資金のための働きとなった。今年の啓発活動では、若手落語家の笑福亭智之介さんを迎えて落語を楽しんだ。また、広報活動として「カフェもぐもぐだより（2018.夏号）」を発行した。

課題は月1回の定例会のための準備と定例会後の情報共有のためのミーティングが十分にできていないことであり、「当事者が出会い、本音で語り合える」ためのカフェもぐもぐとなるために、ミーティングなどを定期的に行なえるようにしたい。もっと仲間を広げるための広報活動にも力を入れていきたい。

● 活動実績

<通常オープン日>

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数					合計
			当事者	当事者 家族	ボラン ティア	他団体等 その他	職員	
4月7日	第1回カフェもぐもぐ	カレーづくり、昼食、ミーティング	2	1	6		3	12
5月12日	第2回カフェもぐもぐ	カレーづくり、昼食			7		2	9
5月26日	認知症サポーター養成講座 (神戸YWCA本館)	認知症についての学びを深め、地域で支えあう人材養成のための講座				16	5	21
6月2日	第3回カフェもぐもぐ	カレーづくり、昼食			5		1	6
7月14日	第4回カフェもぐもぐ	カレーづくり、昼食、新聞発行準備	2	1	6		1	10

8月4日	第5回カフェもぐもぐ	カレーづくり、昼食	1		5		1	7
9月1日	第6回カフェもぐもぐ	通常オープン、ミーティング	1	1	5		1	8
10月13日	若年性認知症フォーラム (神戸YWCA本館)	もぐもぐ亭開演！落語を楽しもう！ ～笑い笑顔は最強の脳トレ～ 出演者：笑福亭智之介さん	2	1	6	33	1	43
11月10日	第7回カフェもぐもぐ	カレーづくり、昼食	2	1	5		1	9
12月8日	第8回カフェもぐもぐ	カレーづくり昼食後、神戸YWCA 本館でのクリスマス会に参加	2	1	5		1	9
1月5日	第9回カフェもぐもぐ	カレーうどんづくり、ミーティング			6		1	7
2月2日	第10回カフェもぐもぐ	炊き込みごはんづくり、ゲーム	2	1	6		1	10
3月2日	第11回カフェもぐもぐ	ちらし寿司づくり(ひな祭り)花見 外出プログラム計画、ミーティング	2	1	3		1	7
延参加人数(全12プログラム)			16	8	65	49	20	158

<外部研修、他団体関係>

開催日	協力団体名	プログラム・イベント名 (場所)	当事者	当事者 家族	ボラン ティア	他団体等 その他	職員	合計
4月21日	神戸市社会福祉協議会	若年性認知症交流会おひさま (こうべ市民福祉交流センター)			2		1	3
5月20日	社会福祉法人まほろば	まほろばカーニバル (社会福祉法人まほろば)	1		3		2	6
12月17日	兵庫県社会福祉協議会	第2回若年性認知症家族介護者 連絡会(兵庫県福祉センター)			1		1	2
3月7日	兵庫県社会福祉協議会	第2回若年性認知症支援担当者 研修(のじぎく会館)					1	1
3月10日	NPO法人播磨オレンジ パートナー	認知症本人の会「ピア」発会式 (スポルテリア)			1		1	2
延参加人数(全5回)			1		7		6	14

IV. 生涯学習・人材育成事業

神戸YWCA学院



<日本語コース>

講師 福井武司(主任)、櫻井かおり(副主任)、天川啓子、荒木真也、小川佐由理、小野木愛、掛橋智佳子、貫上育代、小澤恭子、斎藤明子、後藤範子、小林麻紀子、澤村典子、田中いずみ、三村環、森田純一

担当職員 原田雅子

● 事業方針・目標

「安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行なう。

● 事業報告

在住外国人が安心して地域で暮らすために必要な日本語の教育・支援を行なっている。

仕事に使用する日本語やパソコンスキルなどの取得を目指す就労支援として、兵庫県委託事業「日本語・就業力スキルアップコース」(3か月)を実施。また、外国にルーツをもつ子どもたちの支援として夏休みに「勉強に役立つ日本語クラス」(14日間)を開講した。クラス修了後の子どもたちの受け皿として教科学習サポートと居場所づくりを行なう「はっぴー・さぼーと」(週1回)、進路や進学をサポートする「はっぴー・すくーる」(年4回)も継続している。また、乳幼児を持つ母親が子育てに必要な日本語を学ぶ「ママの日本語クラス」(原則月2回)、「お母さん日本語クラス」(原則月1回、光の園幼稚園)を実施している。

9月からドコモ市民活動団体助成事業として「外国にルーツをもつ子どものための包括的な日本語教育支援」を実施している。社会福祉法人神戸市中央区社会福祉協議会から「地域との交流プログラム」への助成と、「外国にルーツをもつ子どもの学習(日本語)支援事業」の委託を受けている。

レギュラーコース、プライベートコースも、生活者を対象とした独自のカリキュラムのもと、個々人のニーズに沿った丁寧な授業を実施している。宣教師を中心とした基督教の日本語クラスも継続している。ショファイユの幼きイエズス修道会や兵庫大学サマーキャンプへの日本語講師派遣や、企業で働く外国人のための日本語教育も行なっている。

これからも地域で生活をする一人ひとりのニーズに合わせた日本語教育の実施をめざす。

● 事業実績

コース名	内容・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
レギュラーコース	I期：4月9日～7月6日 II期：9月3日～11月22日 III期：12月3日～3月8日	I期：1 II期：2 III期：2	延23	3	6
プライベートコース	4月1日～3月31日	20	延30	-	9
お母さん日本語クラス	光の園幼稚園 4月18日～3月13日	1	3	11	1
日本語講師派遣（企業） セミプライベート	8月20日～3月31日	1	2	26	2
日本語講師派遣（企業） プライベート	11月17日～3月31日	5	延10	-	5
日本語講師派遣（修道会）	ショファイユの幼きイエズス修道会 4月16日～2月7日	1	3	82	2
日本語講師派遣（大学）	兵庫大学サマーキャンプ2019日本語クラス 6月25日～7月5日	1	-	1	3

委託等事業名	プログラム名・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
兵庫県国際交流協会（共催） 「外国人県民・児童生徒の 居場所づくり事業」	勉強に役立つ日本語クラス 7月30～8月17日	2	11	1	9
	はっぴー・さぼーと 4月1日～3月31日	-	21	31	3
	はっぴー・すくーる 4月21日～1月12日	1	21	4	2
	ママの日本語クラス 5月7日～3月4日	1	12	14	1
兵庫县委託訓練事業（委託） 離職者等再就職訓練事業 定住外国人向け職業訓練コース	定住外国人向け日本語・就業力スキルアップ コース 9月21日～12月17日	1	15	1	10
中央区社会福祉協議会（委託） 「外国にルーツを持つ子どもの 学習（日本語）支援事業」	外国にルーツをもつ子どものためのにほんご教室 4月1日～3月31日	6	7	-	5
中央区社会福祉協議会（助成） 「地域との交流プログラムの ための助成」	二宮市場夏祭りへの参加 7月21日	-	9	1	5
NPO 法人モバイル・コミュニケー ション・ファンド「2018年度 ドコモ市民活動団体助成事業」	外国にルーツを持つ子どものための包括的な 日本語教育支援 9月1日～（2019年8月31日）	継続中			

<日本語教師養成コース>

講師 福井武司（主任）、櫻井かおり（副主任）、小川佐由理、斎藤明子、水野マリ子
担当職員 原田雅子

● 事業方針・目標

国際的な広い視野を持ちながら、地域社会のニーズにも対応して日本語を教えることのできる日本語教師を養成する。

● 事業報告

「日本語ボランティア養成講座」を5月、10月に開講し、計16人が受講。

神戸女学院大学、帝塚山学院大学の日本語教育実習の受け入れを行ない（実習生計11人）、「夏季日本語集中講座」として在住外国人24人が受講した。

アドバイザー派遣事業として、明石市国際交流協会へ「日本語学習支援ボランティア養成講座」「日本語学習支援ボランティアブラッシュアップ講座」、三田市国際交流協会へ「日本語教育ボランティア向けブラッシュアップ講座」、神戸市立兵庫中学校北分校と尼崎市立成良中学校琴城分校へ「日本語指導研修」、神戸市教育委員会へ「日本語指導基礎講座」、神戸市中央区社会福祉協議会へ「中央区ボランティアに関する意識・活動調査報告」のための講師派遣を行なった。

また、「やさしい日本語」の講師派遣にも力を入れており、三木市国際交流協会、たつの市、JICA 関西、三木市役所、大阪市、ESD推進ネットひょうご神戸、兵庫県在日外国人教育研究協議会、神戸市中央区まち

づくり推進課に行なったほか、当学院文化教養コースでも講座を開いた。新規の依頼も増えている。

3月より新規講座として「日本語教師スキルアップ講座」を実施し、7人が受講。また、日本語教師養成コースの修了生を対象に、各自の必要に応じたプライベートレッスンも行なった。

● 事業実績

コース名	内容・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
日本語教育実習受け入れ	帝塚山学院大学 7月27日～8月3日	1	4	1	-
	神戸女学院大学 7月27日～8月3日	1	7	1	-
夏季日本語集中講座	7月28日～8月3日	2	24	1	-
日本語ボランティア養成講座	5月19日～6月23日／10月13日～11月17日	1	16	2	2
日本語教師スキルアップ講座	3月2日～2019年4月13日	1	7	1	1
講師派遣・ アドバイザー派遣	日本語学習支援ボランティア養成講座 (明石市国際交流協会) 6月17日～7月22日	1	-	1	2
	日本語学習支援ボランティアブラッシュアップ講座 (明石市国際交流協会) 12月9日	1	-	1	1
	日本語教育ボランティア向けブラッシュアップ講座 (三田市国際交流協会) 7月26日	1	-	1	1
	日本語指導研修(神戸市立兵庫中学校北分校) 7月11日、8月29日、12月19日	1	-	1	1
	日本語指導研修(尼崎市立成良中学校琴城分校) 7月12日、7月13日、3月12日、3月13日	1	-	2	1
	日本語指導基礎講座 (神戸市教育委員会) 8月9日	1	-	1	1
	中央区ボランティアに関する意識・活動調査報告 (神戸市中央区社会福祉協議会) 9月15日	1	-	1	1
	外国人とのコミュニケーションのためのやさしい 日本語(三木市国際交流協会) 7月16日	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 (たつの市役所) 11月15日、11月26日	1	-	1	1
	多文化共生のための国際理解教育開発教育セミナー 分科会「やさしい日本語講座」(JICA 関西) 8月6日	1	-	1	1
	コウベY式防災講座「やさしい日本語講座」 (神戸YWCA 学院文化教養コース) 9月8日	1	-	1	1
	市役所職員のためのやさしい日本語講座 (三木市役所) 9月12日、1月28日	1	-	1	1
	ESD 修学旅行「やさしい日本語講座」 (ESD 推進ネットひょうご神戸) 12月6日	1	-	1	1
	外国籍住民への窓口対応等多文化共生に係る実務 担当者研修「やさしい日本語」(大阪市) 1月11日	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 (兵庫県在日外国人教育研究協議会) 2月3日	1	-	1	1
中央区地域コミュニティセミナー「やさしい日本語」 (神戸市中央区役所まちづくり推進課) 3月26日	1	-	1	1	
プライベートレッスン	日本語指導法について等	1	1	-	1

<外国語コース>

講師 バラティ・スレシュチャンドラ、ダン・クロウン、ポール・ボテロ、テリー・シェンカー、
リッキー・バーネット、ドック・ケイン、レノックス・シンプソン、デレク・ニヘイ、
土井川佳世子、鄭京淑、金明珉

担当職員 秋月啓子

● 事業方針・目標

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する。
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する。
- ・受講生のニーズに応えたクラス・プログラム運営に努める。
- ・効率の良い運営に努め、収支維持を目指す。

● 事業報告

レギュラーコースは英語3クラス、韓国語1クラスを実施した。全体的にシニア層が多く、欠席が目立ったクラスもあった。

プライベートコースは現状を維持している。

(公財) 海外子女教育振興財団 (JOES) の受託事業、帰国子女のための英語保持教室 (小学2年生～中学生、毎週土曜日) は、4月より開講場所を東京国際ビジネスカレッジ神戸校に移し、神戸YWCAからは主任講師を含む講師3人の派遣のみとなった。午後の時間帯 (2コマ) 4クラスを神戸YWCA講師3人とJOES講師1人が担当した。6月からは2年生クラスが開講し、5クラスとなった。移転したことが原因か、生徒数が減った。

カスタムコースは、英語保持クラス「All Together」を3クラス (5歳～1年生、2～4年生、5年生～中学生、毎週土曜日) 開講し、講師1人 (ポール・ボテロ) が担当した。JOES移転の影響か、こちらも生徒数が減り、土曜日の会館が少し静かになった。新しいクラス開講等の可能性を検討中である。

「シニア英会話クラス」 (年3学期制、火曜日午前) は昨年度に続き1クラスを開講した。

● 事業実績

コース名	講座・プログラム名	クラス数	在籍者数	回数	講師数
レギュラーコース (英語3・韓国語1)	春・秋・冬学期 (各12回)	4	16	36	3
プライベートコース	英語	4	14	延140	3
カスタムコース	英語保持クラス「All Together」	3	9	36	1
	シニア英会話	1	4	36	1
JOES	外国語保持教室 (JOES委託)	9	29	36	4
オフキャンパス	兵庫県英会話Dクラス	1	10	30	1
	コープカルチャー宝塚 (ネイティブ英会話A・B)	2	16	47	1
	コープカルチャー宝塚 (ハングル経験者)	2	8	36	1
	コープカルチャー宝塚 (ハングル中級)	1	8	36	1
	コープカルチャー宝塚 (ハングル初級)	1	8	36	1

<地域福祉コース>

担当職員 寺内真子

● 事業方針・目標

- ・地域福祉の向上を目指して、福祉人材養成および啓発を行なう。
- ・介護・福祉の専門職のスキルアップ研修を企画実施する。
- ・市民の福祉力向上につながるプログラムを企画実施する。

● 事業報告

今年度は今後のコース内容の再検討のためプログラムはなし。

<文化教養コース>

講師 岩崎ひかる (ピアノ教室、発声&歌唱教室)、三好公子 (中国医療気功)

担当職員 原田雅子

● 事業方針・目標

人々のエンパワーメントのために文化・教養の視点から支援する。

● 事業報告

<ピアノ教室>

年度初めには3人の受講生を岩崎ひかる講師が担当。引っ越しなどに伴い2人退室。保育士試験対策レッスンの受講生1人。体験レッスンを実施し、継続的に新規受講生の募集を行なっている。一人ひとりの特性に丁寧に寄り添う指導により、受講生たちが音楽を身近に楽しむことができている。

<発声 & 歌唱教室>

腹式呼吸で全身を使って歌うことでリフレッシュすることを目指し、4月から新規講座として開講。毎月1回 (第1月曜日) 実施し、前期、後期とも8人が受講。岩崎ひかる講師が担当。毎回、体をほぐし発声練習をした後、曲を歌う。初回授業時に受講生が希望した曲の中から選曲。高い声が出ない、音符が読めない等、受講生の悩みに合わせたレッスン内容を工夫している。

<コウベY式防災講座>

地震や集中豪雨等の自然災害が起きたときに互いに助け合えるスキルを身につけることを目指し、連続2回の防災講座を開催。第1回は「やさしい日本語講座」。地域に暮らす外国人とのコミュニケーション方法を学んだ。講師は神戸YWCA学院日本語講師の斎藤明子さん。第2回は被災者支援プロジェクトと共になり、ソーラークッカー研究家の西川豊子さんを招いて「ソーラークッカーをつくろう!」を開催。身近にある材料を使って太陽光で料理に挑戦した。

<中国医療気功>

前期は、毎月1回(第2火曜日)実施し6人が受講。7月に三好公子講師のけがのため休講となり、後期は最少開講人数を満たさず不開講。心身の健康を保つユニークなプログラムとして20年以上継続したクラスが惜しまれつつ終了した。

● 事業実績

コース名	講座・プログラム名	クラス数	在籍者数	回数	講師
ピアノ	月曜クラス	1	5	41	岩崎ひかる
発声&歌唱教室	月曜・月1回クラス	1	8	12	岩崎ひかる
コウベY式防災講座	やさしい日本語講座(9月8日)	1	11	1	斎藤明子
	ソーラークッカーをつくろう! (11月10日)	1	15	1	西川豊子
中国医療気功	中国医療気功(前期)	1	6	6	三好公子
	中国医療気功(後期)	-	-	-	

グループ

愛農人倶楽部

代表 大石知世子

メンバー 3人

● 活動方針・目標

- ・完全無農薬有機栽培の野菜づくりを通して、土に触れ、自然を知り、収穫した野菜を食べることによって、いのちの大切さを知る。また、協働で作業することにより、人との交流を楽しむ。
- ・定例会として、毎月約1~2回、道場の農園にて農作業を実施、季節の野菜を育て収穫する。
- ・メンバーとビジター参加者を募集
- ・畑と、プラスαの倶楽部の活性化

● 活動報告

2018年度は地震、豪雨、猛暑、台風と自然災害が重なった大変な年で、収穫物の出来が全体的によくなかった。異常気象の中、野菜たちも必死に生きようとしっかり根を張り、土中にできる野菜は地下の奥深くに作る姿に参加者は感動した。収穫物の味は大きさや見た目はよくなかったが、味が濃くて野菜の命を感じる味がした。

また、長く参加している子どもたちの成長に驚かされた。以前は集中力が続かず、近くの公園へ遊びに行っていたが、畑作業に積極的に参加できるようになり、鍬で耕したり、やり方を教えると自ら工夫してできるようになった。特に一番年下の子どもが初めて大根を一人で引き抜けたのには感動した。大変な年だったが、参加者で畑を楽しめたのがある意味大収穫の年となった。また収穫物を神戸YWCAバザーで販売して貢献することができ、倶楽部の活動資金にもなった。来年度も野菜づくりや色々な活動で参加者に楽しんでもらえるようにしたいと思う。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数
4月29日	第1回 定例会(道場)	じゃがいも芽かきと追肥と土寄せ、トマト・キュウリ・スイカ・ナス・カボチャの苗植付け	8
5月20日	まほろばバザー(三木市)	画材・文房具等のアウトレットを販売	2
5月27日	第2回 定例会(道場)	じゃがいも花取りと追肥と土寄せ、夏野菜追肥と水やり	2
6月4日	有志(道場)	じゃがいもと夏野菜の世話	1
6月24日	第3回 定例会(道場)	さつまいもの苗植付け15苗、落花生苗植付け 収穫(じゃがいもの一部・キュウリ)	7

7月21日 (定例会16日 中止の為)	有志(道場)	雑草刈り、追肥 収穫(お化けキュウリ・ミニトマト・ナス・じゃがいも)	5
8月26日	第4回 定例会(道場)	雑草刈り、落花生追肥と土寄せ、収穫(トマト・じゃがいも)	4
9月17日	第5回 定例会(道場) イベント: 雑草でフワフワ ベッドを作ろう!	雑草刈り、刈り取った雑草でベッドづくり、整地、大根の種蒔き、 収穫(じゃがいも・青紫蘇の実・赤紫蘇)	7
10月28日	第6回 定例会(道場) イベント: 大変過ぎる いも掘り	いも掘り、落花生掘り、大根抜き、 収穫(さつまいも・さつまいものつる・早生大根・落花生)	5
11月3日	神戸YWCAバザー (神戸YWCA本館)	愛農人倶楽部の野菜(開運さつまいも)を販売	4
11月23日	第7回 定例会(道場) イベント: 落花生お宝 さがし!	落花生掘り、整地、玉葱の苗植付け、スナップえんどう豆と 絹さやえんどう豆の種蒔き、収穫(落花生)	6
12月16日	第8回 定例会(道場) イベント: 大根とぬいぐる み撮影会	大根抜き、整地 子どもたちが持参したぬいぐるみ、大根と一緒に写真撮影 収穫(落花生)	4
1月27日	第9回 定例会(道場)	大根抜き、玉葱追肥、収穫(大根)	4
3月16日	懇親会(神戸YWCA分室)	巻寿司づくり、あったかうどん交流	9
3月31日	第10回 定例会(道場)	じゃがいもの種いも植付け、玉葱の畝の雑草刈り、 えんどう豆と絹さやの追肥と支柱立て、柑橘類(不知火)の種蒔き	6
延参加人数(全15回)			74

アフタヌーン・ティー

休会中

文学講座

代表 中尾廣美
メンバー 7人

● 活動方針・目標

- ・文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ。
- ・「枕草子」を完結まで読む。

● 活動報告

毎月第3火曜日13時30分より神戸YWCA本館で開催している。指導をしていただいていた笠原芳光さんをお待ちして自主勉強で「枕草子」を読み継いできたが、11月に先生のご訃報に接した。深い悲しみに沈んだが、続けて集まりを持ち続けることを決めた。心置きなく話し合えるグループとして活動していきたい。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名(神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月17日	第1回 文学講座	枕草子 82段まで	メンバーで自主勉強	5
5月15日	第2回 文学講座	枕草子 85段まで	メンバーで自主勉強	6
6月19日	第3回 文学講座	枕草子 86段まで	メンバーで自主勉強	5
7月17日	第4回 文学講座	枕草子 87段まで	メンバーで自主勉強	4
9月18日	第5回 文学講座	枕草子 90段まで	メンバーで自主勉強	5
10月16日	第6回 文学講座	枕草子 95段まで	メンバーで自主勉強	3
11月20日	第7回 文学講座	枕草子 96段まで	メンバーで自主勉強	5
12月18日	第8回 文学講座	枕草子 99段まで	メンバーで自主勉強	5
1月15日	第9回 文学講座	枕草子 103段まで	メンバーで自主勉強	5
2月19日	第10回 文学講座	枕草子 104段まで	メンバーで自主勉強	4
3月19日	第11回 文学講座	枕草子 108段まで	メンバーで自主勉強	4
延参加人数(全11プログラム)				51

マザースカレッジ企画会

メンバー 岸上美和、郡あや子、長野尚代、貫名裕子、坂野祥子、西野京子

● 活動方針・目標

- ・よりよく生きるために、子ども、大人が本と出会うことを支援する。
- ・「ことばの力」「生きる糧」「人が育つ」をキーワードに、研究会、講演会を実施する。

● 活動報告

<ストーリーテラー養成入門講座>

5月、6月、7月、9月、10月、11月の第3水曜日に実施した（年6回）。昨年、受講できなかった人を第2期生として迎え、昨年と同様に参加者の意欲も感じられ、和やかに進み、充実していた。

<ストーリーテリング研究会>

5月、6月、9月、10月、11月の第4金曜日に実施し、1月、2月にも開催（年7回）。ストーリーテラーとしての質を高めると共に、指導者としてのあり方を考えた。会場は神戸市青少年会館を使用しているため、参加者に神戸YWCAを知ってもらうことが難しかった。

<神戸真生塾>

毎月第3日曜日（ただし8月は除く）に訪問し、おはなし、絵本を通して、子どもたち、職員の方たちと交流できた。これからも続けていきたい（毎回6～7人の子どもと職員が参加）。

<公開講座>

石井桃子没後10年にあたり、交流のあった元太子町立図書館長・小寺哲章さんにお話をうかがった。募集人数をはるかに超える応募があった。

● 活動実績

<ストーリーテラー養成入門講座>

開催日	プログラム・イベント名	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月16日	第1回 講義	お話とは？	芦田悦子	23
6月20日	第2回 講義	お話を選ぶこと	芦田悦子	22
7月18日	第3回 講義	お話を語るために	芦田悦子	23
9月19日	第4回 講義	お話を語る、聞く①	芦田悦子	21
10月17日	第5回 講義	お話を語る、聞く②	芦田悦子	20
11月21日	第6回 講義	お話を楽しむ	芦田悦子・大月ルリ子	22
延参加人数（全6プログラム）				131

<ストーリーテリング研究会>

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸市青少年会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月25日	第1回 定例会	ストーリーテリングと詩の実践、合評	大月ルリ子	26
6月22日	第2回 定例会	「お話を語る」について発表 『ソロモンの指環』について発表	大月ルリ子	28
9月28日	第3回 定例会（神戸YWCA本館）	ストーリーテリングと詩の実践	大月ルリ子	25
10月26日	第4回 定例会	ストーリーテリングと詩の実践、合評	大月ルリ子	25
11月30日	第5回 定例会	「お話しとは」についての発表 「スカラブ号の夏休み」について学習	大月ルリ子	27
1月25日	第6回 定例会	「お話の選び方」についての発表 「ドリトル先生の航海記」についての学習	大月ルリ子	26
2月22日	第7回 定例会	「お話を語る」についての発表 「ホメーロスのイーリアス物語」についての学習	大月ルリ子	24
延参加人数（全7プログラム）				181

<神戸真生塾>

開催日	プログラム・イベント名 (神戸真生塾)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数	
				子ども	先生
4月15日	第1回 おはなし会	お話・絵本の読み聞かせ	西野京子、豊本晃子、森麻公子	6	3

5月20日	第2回 おはなし会	お話・絵本の読み聞かせ	豊本晃子、森麻公子	5	2
6月17日	第3回 おはなし会	お話・絵本の読み聞かせ	西野京子、豊本晃子、森麻公子	7	2
7月15日	第4回 おはなし会	お話・絵本の読み聞かせ	岸上美和、西野京子、豊本晃子、森麻公子	7	1
10月28日	第5回 おはなし会	お話・絵本の読み聞かせ	西野京子、豊本晃子、森麻公子	10	3
11月18日	第6回 おはなし会	お話・絵本の読み聞かせ	森麻公子、豊本晃子	6	3
1月20日	第7回 おはなし会	お話・絵本の読み聞かせ	西野京子、豊本晃子	9	2
2月17日	第8回 おはなし会	お話・絵本の読み聞かせ	西野京子、豊本晃子、森麻公子	6	3
3月17日	第9回 おはなし会	お話・絵本の読み聞かせ	西野京子、豊本晃子、森麻公子	5	2
延参加人数 (全9回)				61	21

わいわい科学クラブ

代表 井上みち子
メンバー 15人

● 活動方針・目標

- ①子どもたちの、科学する心・考える力・自然への豊かな目を育てる。
- ②子どもたち一人ひとりが、身近な題材で実験や物づくりを体験する。
- ③①②を達成できるように、4～10月（8月休み、6回）の主に第3土曜13～16時に「わいわい科学クラブ」を開催する。
- ④「わいわいデイルーム」や「はっぴーすくーる」に出向き、高齢者や外国にルーツをもつ子どもたちにも実験や物づくりの楽しさを知らせる。

● 活動報告

「ふしぎワールド」11年目。企画運営サポーターの高齢化などの理由で、小学生を募っての科学クラブ開催は今年度で終了することにして出発した。

参加児童は全6回で117人。毎回14～28人の子どもたちと付き添いの保護者たちが、実験や物づくりを楽しんだ。毎回6～12人のサポーターに支えられて運営できた。10月の最終回には、6年生の姉も久しぶりに参加してくれたWさん親子3人、「ホントにおしまいですか」と尋ねてから「ありがとうございました」とお辞儀をしたIきょうだい、「残念です。年少の息子にも受けさせたかったわ」とT母さんのお言葉など、大変嬉しかった。無事に最終回を終えることができて、ホッとした。

「わいわいデイルーム」と「はっぴーすくーる」に出前教室を5回と2回、合わせて7回行なった。高齢の利用者さんや外国にルーツをもつ子どもたち（小学生～中高生）にも身近な実験や理科工作を楽しんでいただいている。また、大阪YWCAの夏期子どもミニスクールにも「出前」をした。約20人の小学生が「シュート棒」と「ラップ芯の光まんげ鏡」を作り、楽しんで遊んだ。

2019年度は出前教室の活動に取り組んでいきたい。外部からも要請されるように、ホームページで情報を発信するようにしたい。

● 活動実績

開催日	ミーティング (付記以外、神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加 人数
4月24日	4月打ち合わせ会	月テーマの作り方や進め方の検討、材料や用具の準備と作成、予備実験等	4	37 (全9回)	4
4月23日	5月打ち合わせ会	月テーマの作り方や進め方の検討、材料や用具の準備と作成、予備実験等	5		
6月8日	6月打ち合わせ会	月テーマの作り方や進め方の検討、材料や用具の準備と作成、予備実験等	3		
7月2日	7月打ち合わせ会	月テーマの作り方や進め方の検討、材料や用具の準備と作成、予備実験等	3		
9月10日	9月打ち合わせ会	月テーマの作り方や進め方の検討、材料や用具の準備と作成、予備実験等	7		
10月4日	10月打ち合わせ会	月テーマの作り方や進め方の検討、材料や用具の準備と作成、予備実験等	2		
10月 10, 17, 24日	バザー出品準備	材料セットや完成品の作成など	13		

<通常プログラム>

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加 児童数	参加 サポーター数
4月28日	第1回わいわい科学クラブ	シュート棒であそぼう	27	9
5月26日	第2回わいわい科学クラブ	くらしか関西プラン「ふしぎなふん水」	15	12
6月26日	第3回わいわい科学クラブ	砂時計風スライム・オブジェ	26	6
7月21日	第4回わいわい科学クラブ	浮沈子（ふちんし）であそぼう	18	7
9月15日	第5回わいわい科学クラブ (神戸YWCA本館)	かさ袋ロケットをとばそう	16	8
10月20日	第6回わいわい科学クラブ	べっこうあめ、リンゴあめをつくろう	14	7
延参加人数（全6回）			117	49

<出前プログラム>

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加者	科学クラブ メンバー数	参加 サポーター数
5月22日	第1回 デイルーム出前教室	色が変わるコマ、ベンナムコマ	5	1	4
10月30日	第2回 デイルーム出前教室	リンゴあめ	3	1	4
11月27日	第3回 デイルーム出前教室	マローブルー、色が変わるティー	6	1	4
1月29日	第4回 デイルーム出前教室	ほかほかカイロ	5	1	4
3月19日	第5回デイルーム出前教室	シュート棒	4	1	5
11月17日	第1回はっぴー・すくーる出前教室	かさ袋ロケット、ダブルリング	10	5	4
3月16日	第2回はっぴー・すくーる出前教室	電気パン	13	6	3
7月26日	大阪YWCA 夏期子どもミニスクール	シュート棒、光まんげ鏡	21	2	4
延参加人数（全8回）			67	18	32

V. 活動共通事業

運営委員会

会長	宮田泰子
副会長	東根順子、野村春美
会計	梅澤昌子
書記	岩切幸子
担当職員	西本玲子
メンバー	5人

● 活動方針・目標

- ・YWCAのビジョン・目標を具現化する活動を全会員と目指す。
- ・楽しくわくわくする会員活動となるよう働きかける。

● 活動報告

今年度の運営委員会は5人でのスタートとなった。毎月第2土曜日を定例として活動。
2020年に創立100周年を迎える今、これからの神戸YWCAについて、またそれぞれの活動が強められるためにはどうすればよいのかを話し合った1年であった。
2018年6月にキックオフミーティングを開催。「よくわかるSNS講座」にチャレンジした。8月にはビジョン・ミーティングを実施。寺川政司さん（近畿大学建築学部准教授）をアドバイザーに、箕面のNPO法人暮らしづくりネットワーク北芝を訪問、活動現場の研修の機会を得た。ミッションの確認と共有、および今まで縦割りだった事業と会員活動の組織内での横のつながりの必要性など、よい学びとなった。今年も会員のエンパワメントと情報交換の場として「つながるメール」、および新しい仲間募集のためのボランティア説明会を実施した。

2019年3月には第99回定期会員集会を開催。12月までの2018年度活動報告と会計報告、2019年度ビジョンと目標、活動計画と予算、運営委員および指名委員が承認された。また標語聖句が決定した。午後には

「神戸YWCA 100周年 大いに語ろう！みんなでつくっていく私たちのこれから」を開催した。

日本YWCA関連では、5月、日本YWCA主催のYWCAフェスタ in 京都に参加。3市YWCA（京都、大阪、神戸）で「地域YWCAを主体とした活動（LA）」の第Ⅰ期報告およびⅡ期プレゼンテーションを行ない、Ⅱ期の助成を獲得した。Ⅰ期助成事業である「3市Y合同合宿」は9月開催（於：六甲山YMCA／神戸YWCA担当）。組織や活動を考える機会となった。次年度から新たに名古屋YWCAも加わり、LA第Ⅱ期目として名古屋開催となる予定。

● 活動実績

開催日	委員会 (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加 人数	延参加人数 (全回数)	平均 参加人数
3月17日	第1回委員会	新旧運営委員会 新役員・各部担当者の決定、年間の委員会日程確認	8	69 (全12回)	5
4月14日	第2回委員会	キックオフ・ミーティング、プロジェクトYへの取り組み、 各部・プロジェクトメンバー募集、フェスタ in 京都、 3市Y合同合宿の件など	5		
5月12日	第3回委員会	各部・プロジェクトメンバー承認、キックオフ・ ミーティング、100周年記念事業実行委員会から提言、 3市合同合宿の進捗、フェスタ in 京都の件など	3		
6月16日	第4回委員会	キックオフミーティング、3市Y合同合宿、 指導者養成基金の使い方について、ソウルY日本訪問、 夏のビジョンミーティングの件	6		
7月14日	第5回委員会	3市Y合同合宿詳細、指導者養成基金の使い方について、 緊急災害救援の件	5		
9月8日	第6回委員会	3市Y合同合宿最終確認、会費領収書発行の件、 世界Y総会派遣者推薦、日韓ユース・カンファレンスへの 協力、ボランティア説明会、運営委員会日程変更	6		
10月13日	第7回委員会	世界Y総会派遣者推薦の件、CSW派遣者推薦の件、 秋のバザー担当者、100周年に向けて2018年度上半期の 取り組みから見えてきたこと	6		
11月17日	第8回委員会	2019年度ビジョンと活動目標、京都Yでのヒヤリングに 向けて質問事項の整理、定期会員集会議案の件	5		
12月1日	第9回委員会	世界Y総会派遣者決定、2018年度運営委員会活動報告、 2019年度運営委員会活動計画および予算検討、 定期会員集会での議案および午後のプログラムの件	6		
1月12日	第10回委員会	2018年度運営委員会活動報告の承認、2019年度運営委員会 活動計画と予算の承認、各部活動計画の確認と承認、 定期会員集会の午後プログラムの件	6		
2月2日	第11回委員会	運営委員が定員に満たなかった件、運営委員から指名委員 選出の件、第98回定期会員集会議事録の件、定期会員集会 (タイムスケジュールの確認、役割分担、当日の報告内容確認、 午後プログラムの件など)、LA第Ⅱ期の件	6		
3月30日	第12回委員会	新旧運営委員会、新役員・各部担当者の決定、 年間の委員会日程確認	7		
開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数	
6月16日	キックオフ・ミーティング	前半：オリエンテーション、グループ活動紹介 後半：広報～SNSって？～		22	
5月19日 ～20日	日本YWCA フェスタ in 京都	加盟YWCA中央委員会、全国の地域YWCA会員の交流会		8	
8月20日	ビジョンミーティング	プロジェクトY（まごの手、分室、学院、会員、ファン） および日本語事業、保育園の、これまでの事業評価、 中長期の展望などを共有し、100周年以後のビジョンに つなげる。	寺川政司 (近畿大学 建築学部 准教授)	19	
9月22日 ～23日	3市YWCA合同合宿 (六甲山YMCA)	日本YWCAのLA（地域YWCAを主体としたプログラム） 「会員のリーダーシップ養成を考える」の2年目として、 今年は「運営委員のあり方について考える」をテーマに 7市YWCAのメンバーが集合し、協議した。		30 (うち、 神戸から 9人)	
10月 2月	ボランティア説明会	10月10日～13日 秋バザーに向けた説明会 2月22日、3月1日 分室バザーに向けた説明会		0	
3月9日	第99回神戸YWCA 定期会員集会	第1部：理事会報告、2018年度会員活動報告、 2018年度会員活動会計報告（12月まで） 2019年度ビジョンと活動目標、2019年度会員活動 計画案、会員活動予算案の承認、2019年度運営委員、 指名委員の承認、標語聖句の決定 第2部：神戸YWCA100周年 大いに語ろう！ みんなでつくっていく私たちのこれから		36	
延参加人数（全6プログラム）				115	

会員委員会

代表 鶴崎祥子
 メンバー 3人
 担当職員 秋月啓子

● 活動方針・活動目標

会員サービスの向上のために（誕生日カード・グリーティングカード）などを送付する

● 活動報告

今年度は、会員委員会は委員会として実施されなかった。活動計画にあった会員サービスは、誕生日カードは従来どおり実施。会員・会友の会費管理などは事務局の整備により職員が引き継ぎ、特別支障がなかった。

これまで会員の協力により誕生日カードが送付されていたが、今後は必要経費を予算に計上することが望ましい。また、2020年には神戸YWCAが創立100周年を迎えるので、「シニア会員のつどい」を企画してもよいのではないかと。会員委員会のメンバーも定期的に入れ替わりが必要だと思われる。

100周年記念事業実行委員会

代表 鶴崎祥子
 メンバー 5人（～2018年11月）、4人（2018年12月～）
 担当職員 秋月啓子、西本玲子

● 活動方針・活動目標

- ・神戸YWCAは2020年3月に創立100周年を迎える。100周年にむけて、記念事業全体の企画・運営を行なう。
- ・100周年記念式典、記念募金、記念事業、記念誌を2019年度にスタートできるように準備する。

● 活動報告

活動方針・目標に沿って、各プロジェクト（記念式典・募金・事業・記念誌）を役割分担し、メンバーが企画立案を進めていく段取りの年であった。

記念式典日時は2021年3月20日（土）、場所は日本基督教団神戸聖愛教会（予定）。記念募金は、100周年を前向きに鑑みて目標金額を1,000万円とし、記念事業および100周年以後の神戸YWCAの活動に用いることとした。記念誌は昨年より準備が進められてきた。記念誌の目的、用途を策定し、ロードマップに沿って、2019年度から本格始動する。記念事業は、今の神戸YWCAの力量と100周年以降のビジョンに沿って、2019年～2020年の2年間をかけて実施することが確認された。広報用の100周年ロゴマークも作成する。

神戸YWCA 100年を振り返り、将来の在り方を見つめる「神戸YWCA 100周年記念事業」は、単に実行委員会のメンバーが動くのではなく、会員・会友全員の積極的な参加協力によって初めて「神戸YWCA 100周年」と言える。

● 活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均 参加人数
4月27日	第1回委員会	記念事業の役割確認、スケジュール検討	5	61 (全9回)	6
6月22日	第2回委員会	各プロジェクト担当者決定、各プロジェクトの進め方	7		
7月27日	第3回委員会	各プロジェクトの進め方、決定権についての確認、記念誌企画案の検討	8		
9月13日	第4回委員会	100周年記念事業全体の目的の検討と確認、各プロジェクトの概要	7		
10月18日	第5回委員会	各プロジェクトの進捗状況、2019年度計画・予算について	7		
11月29日	第6回委員会	各プロジェクトの進捗状況、2019年度計画・予算について	6		
12月20日	第7回委員会	2018年度活動報告の確認、2019年度活動計画と予算の確認、2019年度活動スケジュールの確認	7		
1月25日	第8回委員会	定期会員集会で確認すべきこと	7		
2月25日	第9回委員会	100周年記念ロゴ案、各プロジェクト進捗、募金プロジェクトの件	7		

キリスト教基盤部

代表 宮田泰子
 メンバー 8人
 担当職員 原田雅子

● 活動方針・目標

標語聖句が、具体的に会員に浸透するような働きを考える。

● 活動報告

概ね月1回のペースで例会をもち、各プログラムの準備などは担当者が担った。特に今年度は標語聖句が会員一人ひとりにとって身近になること、神戸YWCAの活動に活かされ強められることを願って話し合った。会館内の標語聖句の掲示、キックオフ・ミーティングでの参加者へのアンケート実施や機関紙での呼びかけなどを通して標語聖句を伝えることに取り組んできた。

11月11日(日)から17日(土)の1週間、「ユースエンパメントが世界を変える～限りない可能性を信じて～」、特に「善い業について」考えるテーマで神戸YMCA/YWCA合同祈禱週がもたれた。11月13日(火)には橋本いずみ牧師(日本キリスト教団西宮一麦教会)により「祝福された人へのチャレンジ」と題する礼拝、また12日(月)から17日(土)は毎日30分間「静まりと祈りのとき」をもち、学びの時となった。12月9日(土)の神戸YWCAクリスマスでは、礼拝で「みんなで祝うクリスマス」と題して小豆真太郎伝道師(日本基督教団関西学院教会)のお話、また新たな会員の参加を願って祝会プログラムへの参加を呼びかけ、クリスマスの意味をわかりやすく届けるためにクリスマスの詩の朗読を行なった。12月14日(金)の第60回神戸市民クリスマスでは、ほっとコーナーを担当した。3月2日(土)には世界祈禱日礼拝が超教派の団体によって神戸聖愛教会で持たれた。今年度はスロベニアからのメッセージを聞き、共に祈った。

神戸YMCA/YWCAイースター早天礼拝は年度をまたいで4月21日(日)に予定されている。

神戸YWCAがキリスト教を基盤とすることの意味を会員に届けるよう目指してきた。次年度も会員が気軽に参加したいと思えるような取り組みを考えていきたい。

● 活動実績

開催日	部会 (神戸YWCA本館)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均 参加人数
6月5日	第1回部会	代表選出、活動計画・予算の確認、今年度のプログラム、標語聖句について	7	69 (全10回)	6
7月9日	第2回部会	キリスト教基盤であるということについて	8		
9月10日	第3回部会	世界YMCA/YWCA合同祈禱週について、クリスマスについて	6		
9月29日	第4回部会	世界YMCA/YWCA合同祈禱週について、神戸市民クリスマスについて	5		
10月15日	第5回部会	クリスマスについて、世界YMCA/YWCA合同祈禱週について	8		
11月13日	第6回部会	世界YMCA/YWCA合同祈禱週の振り返り、神戸YWCAクリスマスについて	9		
11月26日	第7回部会	神戸YWCAクリスマスについて	8		
1月15日	第8回部会	神戸YWCAクリスマスの振り返り 2019年度標語聖句について	6		
2月25日	第9回部会	神戸市民クリスマスの振り返り、世界祈禱日について、イースターについて	6		
3月25日	第10回部会	世界祈禱日の振り返り、イースターについて、2018年度の振り返り、2019年度に向けて	6		

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
11月13日	世界YMCA/YWCA合同祈禱週 神戸YMCA/YWCA合同礼拝	「祝福された人へのチャレンジ」	橋本いずみ(日本キリスト教団・西宮一麦教会牧師)	41
11月12日 ～17日	合同祈禱週 「静まりと祈りの時」	合同祈禱週冊子を輪読 (毎日12時30分～13時)		延31
12月9日	神戸YWCAクリスマス	みんなで祝うクリスマス	小豆真太郎(日本キリスト教団・関西学院教会牧師)	40
12月14日	神戸市民クリスマス (日本聖公会神戸聖ミカエル教会)	みんなで祝おうクリスマス		270
3月2日	世界祈禱日 (日本基督教団神戸聖愛教会)	スロベニアからのメッセージ 「いらっしゃい、準備はすっかりできています」		94

4月21日	神戸YMCA/YWCA イースター 早天礼拝（東遊園地）	イースター礼拝	山田雅人（日本基督教団・ 甲南教会牧師）	未
延参加人数（全5プログラム）				476

グループ

讃美歌を歌おうかい

代表 大工原則子、中尾廣美
メンバー 8人

● 活動方針・目標

讃美歌に親しみ、共に楽しく歌う。

● 活動報告

毎月（8月を除く）第1木曜日15時～16時まで神戸YWCA本館にて実施している。会員の橋本静子さんが讃美歌の作詞者、作曲者の解説も行ない、楽しく歌っている。新しいメンバーが増え、今年度も、神戸YWCAクリスマスと祝会で歌うことができた。1月から3月も定例日に本館チャペルで歌った。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA本館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月5日	第1回 讃美歌を歌おうかい	こどもさんびかにあるイースターの歌 讃美歌21より325、331、333、他リクエストで575、329	橋本静子	7
5月10日	第2回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌21と改訂こどもさんびかから 533、57、60、386、346	橋本静子	6
6月7日	第3回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌21および旧讃美歌から ジョン・ニュートン作詞の局を選んで歌う。	橋本静子	6
7月6日	第4回 讃美歌を歌おうかい	大雨警報で休会		0
9月6日	第5回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌21の「朝夕の歌」の中から211、218 メンデルスゾーン作曲211のピアノ演奏もあり	橋本静子	8
10月4日	第6回 讃美歌を歌おうかい	クリスマス礼拝の練習歌 讃美歌21から254、271、267	橋本静子	8
11月1日	第7回 讃美歌を歌おうかい	クリスマス礼拝の練習歌 讃美歌21から254、271、267	橋本静子	11
12月6日	第8回 讃美歌を歌おうかい	クリスマス礼拝の練習歌 讃美歌21から254、271、267	橋本静子	10
1月10日	第9回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌21から507、368 讃美歌（Ⅱ編）から26、旧496	橋本静子	8
2月7日	第10回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌21内の由木康作詞のものを歌う。 280、194、405	橋本静子	7
3月7日	第11回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌21の「受難」の中から 297、303、311、306（黒人霊歌）	橋本静子	7
延参加人数（全11プログラム）				78

聖書を読む会

代表 大工原則子、中尾廣美
メンバー 6人

● 活動方針・目標

聖書を読んでキリストの平和を学ぶ。

● 活動報告

毎月（8月を除く）第1木曜日の13時30分より神戸YWCA本館で実施している。講師に宇都宮佳果さん（元東部教会牧師）をお迎えし、ルカによる福音書を学んでいる。時代背景や人々の様子を知り、大きな約束の中にイエスの誕生があり、その苦難と愛の生涯を読んでいる。聖書を幅広く学ぶことは、自由な解放感を学ぶことでもあると考えられる。

開催日	プログラム・イベント名（神戸YWCA本館）	テーマ・主な内容	参加数
3月26日	4・5月号作業	最終校正	3
4月5日	4・5月号作業	発送	3
4月16日	6・7月号作業	生原稿チェック	3
5月24日	6・7月号作業	レイアウトチェック	3
5月28日	6・7月号作業	最終校正	3
6月4日	6・7月号作業	発送	3
7月12日	8・9月号作業	生原稿チェック	2
7月23日	8・9月号作業	レイアウトチェック	2
7月31日	8・9月号作業	最終校正	2
8月6日	8・9月号作業	発送	5
9月10日	10・11月号作業	生原稿チェック	2
9月27日	10・11月号作業	レイアウトチェック	2
10月1日	10・11月号作業	最終校正	2
10月9日	10・11月号作業	発送	2
11月12日	12・1月号作業	生原稿チェック	2
11月19日	12・1月号作業	レイアウトチェック	2
11月26日	12・1月号作業	最終校正	2
12月3日	12・1月号作業	発送	5
1月17日	2・3月号作業	生原稿チェック	2
1月21日	2・3月号作業	レイアウトチェック	2
1月28日	2・3月号作業	最終校正	2
2月4日	2・3月号作業	発送	2
3月11日	4・5月号作業	生原稿チェック	2
3月16日	4・5月号作業	レイアウトチェック	2
延参加人数（全24プログラム）			59

ファンドレイジング実行委員会

代表 齋藤明子、鶴崎祥子
 メンバー 4人
 職員 秋月啓子、西本玲子

● 活動方針・目標

- ・ 会員活動における持続可能なファンドレイジングの形を、検討および実施する。
- ・ 年間にわたってファンドレイジングを企画、運営する。

● 活動報告

マネージメントの視野を持ち、ファンド・広報を念頭において活動した2年目。ミーティングは14回実施(バザー委員会含む)、夏以降はほぼバザー関連のミーティングになった。

昨年度にうぶ声をあげた「YWCAチャリティードリップコーヒー」が会員の助力のもと大きく成長を遂げ、ファンドの一つの柱となった。日本YWCA・他市YWCAでのイベントや贈答用にもニーズがあった。9月に実施した3市YWCA合同合宿では、エキストラ珈琲株式会社の協力のもと、「コーヒーセミナー」を開催し、好評だった。11月の本館「LOVE&PEACEバザー」は、今年は日本基督教団神戸聖愛教会と同日開催とし、互いにバザーを盛りあげた。そして昨年につき「地域とつながる券」を実施。この地域に居住していない会員がほとんどである中、地域との連携はなかなか難しいが、神戸YWCAのこれからの考えれば、よりよい形を模索する必要があるだろう。また、高齢化による人手不足解消方法のひとつとして、NPO法人フリーヘルプからバザー準備の効率化を学ぶ機会も得られた。このように、外部団体や地域などと

● 事業報告

プロジェクトY（以下PY）を立ち上げ、事業と財政の再評価を行なってきた。5つのチーム（ファンド、分室、学院、まごの手、会員活動）をつくり、4月からスタートした。

PYファンドでは、9月からオンラインクレジット決済を開始。PY分室では、阪神大震災を契機に誕生した分室での活動の今後について議論を重ねた。最終的にはPYまごの手での協議と合流し、神戸YWCAの次の地域福祉の形について共に話す土台がつけられつつある。PY学院では、教育団体としてのビジョンを掲げる神戸YWCA活動の根幹を担うべく、新しい学びの場について検討中である。そしてPY会員活動（つまり運営委員会）は、それらPYをつなぎ、8月にはビジョンミーティングを開催した。

2020年に神戸YWCAが創立100周年を迎えるにあたり、次世代に活動を引き継ぎために、引き続きPYを通して各事業が有機的につながる新しい事業の仕組みを検討、推進していく。

● 実績

開催日	理事会（付記以外、神戸YWCA本館）	出席理事数	出席監事数
5月26日	2017年度 第7回理事会	7	2
8月2日	2018年度 第1回理事会	7	2
10月20日	2018年度 第2回理事会	6	2
12月10日	2018年度 第3回理事会	7	2
2月9日	2018年度 第4回理事会	7	2
3月25日	2018年度 第5回理事会	7	2

監事

監事 川邊比呂子、川関敏恵

評議員会

評議員 柴田富士子、島田恒、下村俊子、関本雅子、鶴崎祥子、寺澤京子、馬場一郎、藤野達也、松浦裕子

開催日	理事会（付記以外、神戸YWCA本館）	出席評議員数	欠席評議員数
6月18日	第8回評議員会	9	0



もぐもぐ亭開演！落語を楽しもう（笑福亭智之介さん）



神戸YWCAクリスマス（朗読）

会 勢 報 告

会員・会友数

2019/3/31

		2016年	2017年	2018年	増減
成人会員		139	134	127	-7
青年会員		4	5	6	1
年少会員		0	0	0	0
合 計		143	139	133	-6
賛助員	個人	22	22	26	4
	法人	1	1	2	1
会 友		8	10	11	1

会員・会友年齢別

2019/3/31

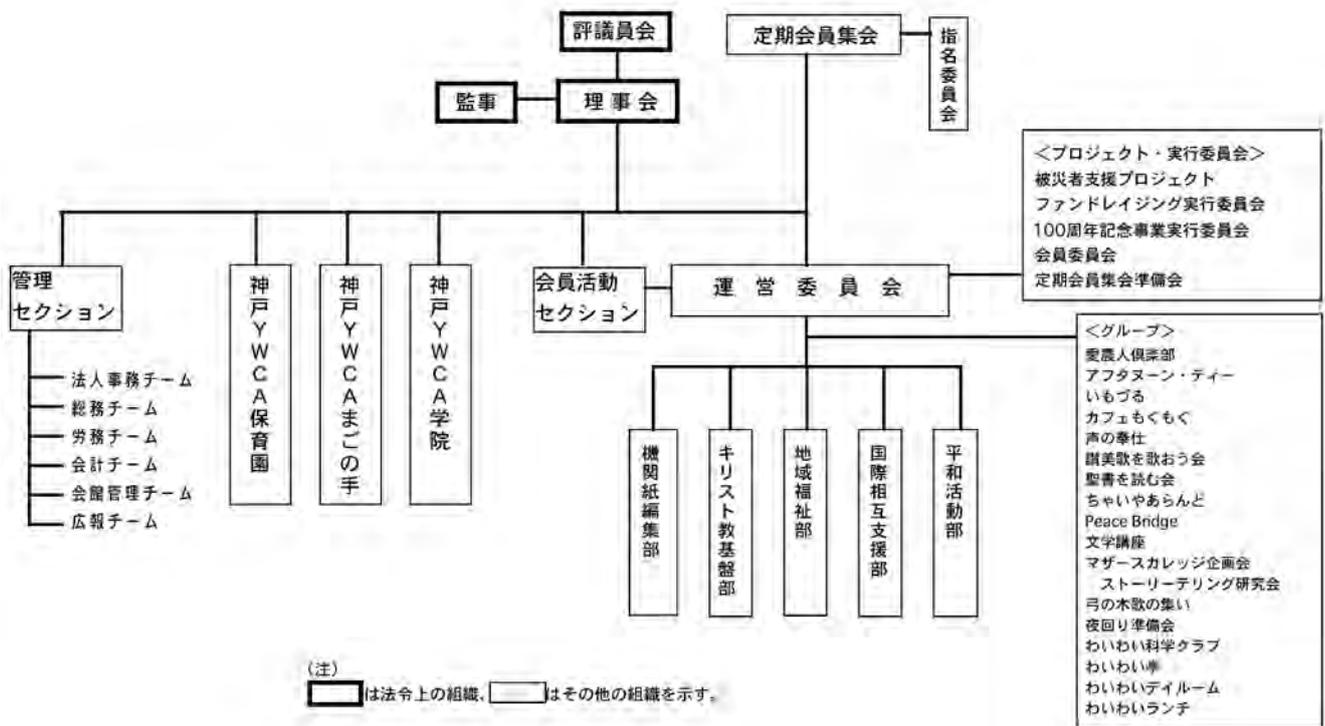
年齢別	会員	会友
12歳未満	0	0
12～17歳	0	0
18～24歳	3	0
25～29歳	3	0
30～39歳	4	2
40～49歳	9	1
50～59歳	28	1
60～69歳	35	3
70～79歳	25	3
80歳以上	25	1
不 明	1	0
合 計	133	11

職員数

2019/3/31

	女	男	合 計	備 考
幹事職	8	0	8	
まごの手職員	7	0	7	
保育園職員	2	0	2	
パート職員 (総務)	4	0	4	うち兼務 2(女)
パート職員 (分室)	2	0	2	うち兼務 1(女)
パート職員 (まごの手)	31	2	33	うち兼務 1(女)
パート職員 (保育園・保育)	7	0	7	うち兼務 1(女)
パート職員 (保育園・調理)	2	0	2	
学院講師	19	6	25	
合 計	82	8	90	

2018 年度公益財団法人神戸 YWCA 組織図



■ 評議員

柴田 富士子
 島田 恒
 下村 俊子
 関本 雅子
 鶴崎 祥子
 寺澤 京子
 馬場 一郎
 藤野 達也
 松浦 裕子

■ 理事

理事長	平山 芳子
理事	大工原 則子
理事	三浦 啓子
理事	宮田 泰子
理事	モーア・アン
常務理事	西本 玲子
業務執行理事	寺内 真子

■ 監事

監事	川関 敏恵
監事	川邊 比呂子

■ 運営委員

会長	宮田 泰子
副会長	野村 春美、東根 順子
書記	岩切 幸子
会計	梅澤 昌子

■ 職員 (幹事職)

総幹事	西本 玲子
幹事	秋月 啓子
幹事	梅川 玲子
幹事	寺内 真子
幹事	伝明地 敦子
幹事	原田 雅子
幹事補	塩見 洋子
幹事補	吉田 好江 (2018年2月着任)

* 2019年3月31日現在



LOVE & PEACE バザー（本館）



神戸YWCA オリジナル
チャリティードリップコーヒー



神戸 YWCA ホームページ : www.kobe.ywca.or.jp/top



神戸 YWCA フェイスブックページ : www.facebook.com/kobeywca



神戸 YWCA 学院フェイスブックページ : www.facebook.com/kobeywcacollege



ツイッター @KobeYWCA



インスタグラム : kobeywca

公益財団法人 神戸 YWCA

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10

tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692

e-mail: office@kobe.ywca.or.jp

www.kobe.ywca.or.jp

YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー
Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語
や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社
会参画を進め、人権や健康や環境が守られ
る平和な世界を実現する国際 NGO です。